

令和4年度  
高山市まちづくりアンケート調査  
—報告書—

令和4年9月

高山市



# 目次

## 第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の期間	1
3	調査の項目	1
4	調査の方法	1
5	回収結果	1
6	標本の構成	2
7	その他	2

## 第2章 調査結果の分析

### 1 高山市の市政運営について

1	市政運営への関心	3
2	今後の重要課題	6
3	高山市の取り組みに対する満足度	14

### 2 SDGsへの取り組みについて

1	SDGsの認知度	23
2	SDGsと認知したきっかけ	26
3	SDGsの取り組み状況	28
4	SDGsを取り組むにあたって知りたいこと	31
5	SDGsの各目標における取り組み意欲度	33
6	市公式SNSの認知度	36
7	「私なりのSDGs宣言」の認知度	37
8	SDGs全般への意見	38

### 3 高山市のまちづくりに関するご意見など

	自由記述	45
--	------	----



# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

高山市第八次総合計画の計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等

## 2 調査の期間

令和4年7月3日～8月19日

## 3 調査の項目

○高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・今後の重要課題
- ・高山市の取り組みに対する満足度

○SDGsへの取り組みについて

- ・SDGsの認知度
- ・SDGsを認知したきっかけ
- ・SDGsの取り組み状況
- ・SDGsに取り組むにあたって知りたいこと
- ・SDGsの各目標における取り組み意欲度
- ・市公式SNSの認知度
- ・「私なりのSDGs宣言」の認知度
- ・SDGsの取り組みに対する意見（自由記述）

○高山市のまちづくりに関するご意見など（自由記述）

## 4 調査の方法

調査地域 高山市内全地域

実施方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、無記名式

調査対象 18歳以上の市民、3,000人

抽出方法 令和4年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

## 5 回収結果

発送数 3,000人

回収数 1,019人

回収率 34.0%

## 6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)			件数 (件)	構成比 (%)	
性別	男性	410	40.2	家族構成	単身世帯	108	10.6	
	女性	580	56.9		夫婦のみ	250	24.5	
	無回答	29	2.8		二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	425 (114)	41.7 (11.2)	
年齢	10・20代	54	5.3		三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	194 (108)	19.0 (10.6)	
	30代	85	8.3		その他(※1)	13	1.3	
	40代	143	14.0		無回答	29	2.9	
	50代	178	17.5		職業	農林畜産業	66	6.5
	60代	230	22.6			自営業	114	11.2
	70代以上	317	31.1			会社員・公務員・団体職員	301	29.5
	無回答	12	1.2			パート・アルバイト・内職	185	18.2
居住地域	高山地域	642	63.0	家事従事者		70	6.9	
	東地区	35	3.4	学生		8	0.8	
	西地区	63	6.2	無職		239	23.5	
	南地区	80	7.9	その他(※2)		17	1.7	
	北地区	117	11.5	無回答	19	1.9		
	山王地区	97	9.5	定住年数	1年未満	7	0.7	
	江名子地区	40	3.9		1年以上～5年未満	12	1.2	
	新宮地区	63	6.2		5年以上～10年未満	18	1.8	
	三枝地区	35	3.4		10年以上～20年未満	69	6.8	
	大八地区	38	3.7		20年以上	898	88.1	
	岩滝地区	6	0.6		無回答	15	1.5	
	花里地区	68	6.7	居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	930	91.3	
	丹生川地域	62	6.1		借家(アパート含む)	64	6.3	
	清見地域	23	2.3		間借	0	0.0	
	荘川地域	18	1.8		社宅・寮	10	1.0	
	一之宮地域	22	2.2		その他(※3)	2	0.2	
	久々野地域	38	3.7		無回答	13	1.3	
	朝日地域	20	2.0		「その他」の内容			
	高根地域	8	0.8		※1 兄弟と同居、四世代世帯 など			
	国府地域	101	9.9	※2 会社役員 など				
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	48	4.7	※3 施設入所 など				
	無回答	37	3.6					

## 7 その他

・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$$

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

## 第2章 調査結果の分析

### 1 高山市の市政運営について

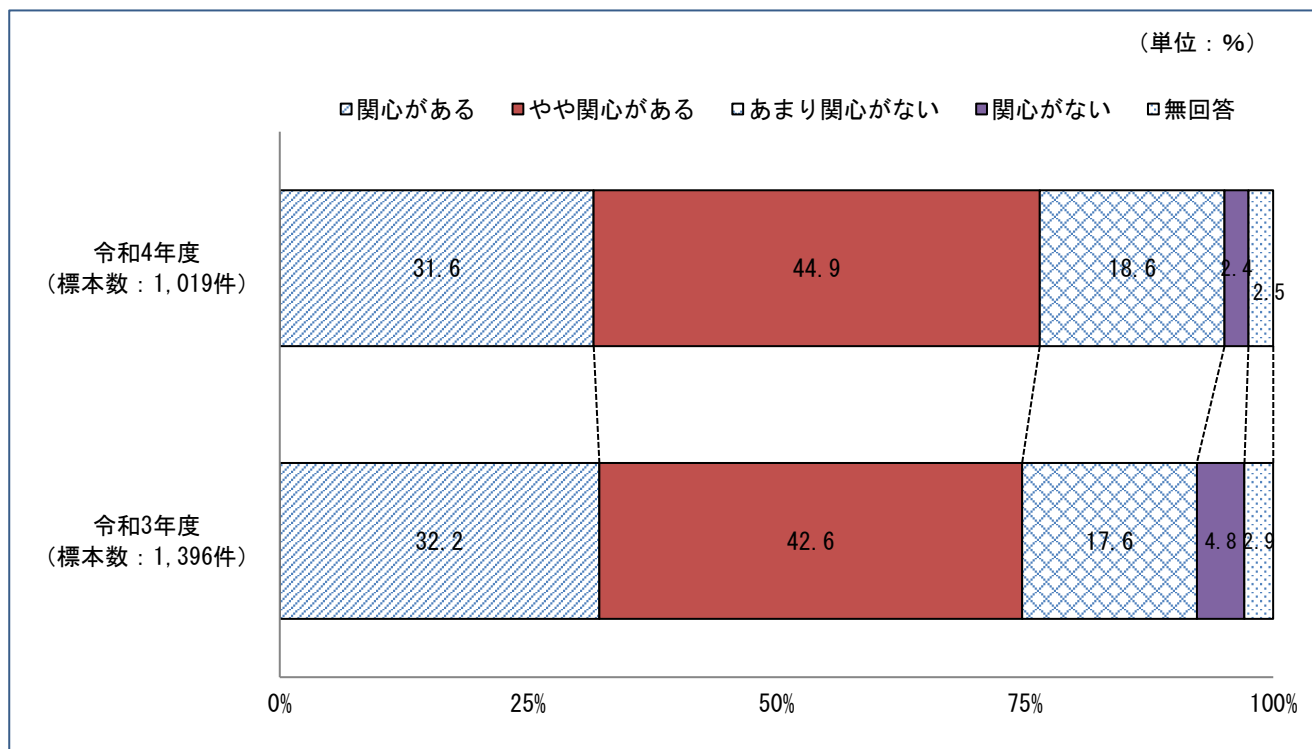
#### 1 市政運営への関心

- ・「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 76.5%を占め、前回（R3）の調査結果（74.8%）に比べ1.7ポイント上昇している。

問1 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	322	31.6
やや関心がある	458	44.9
あまり関心がない	190	18.6
関心がない	24	2.4
無回答	25	2.5
計	1,019	

(標本数：1,019件)



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
年齢	10代・20代	54	24.1	37.0	29.6	7.4	1.9
	30代	85	25.9	43.5	22.4	7.1	1.2
	40代	143	34.3	44.8	20.3	0.7	0.0
	50代	178	33.1	45.5	19.7	1.1	0.6
	60代	230	30.4	49.1	16.1	1.7	2.6
	70代以上	317	32.8	43.8	16.7	2.2	4.4

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、40代以上では75%以上であるのに対し、30代では69.4%、10代・20代では61.1%と低くなっている。



属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	642	33.3	44.2	17.8	2.6	2.0
	東地区	35	31.4	37.1	25.7	2.9	2.9
	西地区	63	34.9	47.6	14.3	1.6	1.6
	南地区	80	38.8	42.5	8.8	6.3	3.8
	北地区	117	28.2	44.4	22.2	3.4	1.7
	山王地区	97	28.9	51.5	14.4	2.1	3.1
	江名子地区	40	40.0	42.5	12.5	0.0	5.0
	新宮地区	63	28.6	47.6	20.6	1.6	1.6
	三枝地区	35	34.3	37.1	28.6	0.0	0.0
	大八地区	38	34.2	44.7	21.1	0.0	0.0
	岩滝地区	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	花里地区	68	39.7	38.2	17.6	4.4	0.0
	丹生川地域	62	22.6	50.0	22.6	1.6	3.2
	清見地域	23	17.4	56.5	17.4	4.3	4.3
	荘川地域	18	27.8	44.4	27.8	0.0	0.0
	一之宮地域	22	45.5	40.9	9.1	0.0	4.5
	久々野地域	38	39.5	52.6	7.9	0.0	0.0
	朝日地域	20	35.0	45.0	20.0	0.0	0.0
	高根地域	8	37.5	50.0	0.0	0.0	12.5
	国府地域	101	27.7	45.5	19.8	4.0	3.0
上宝・奥飛驒温泉郷地域	48	25.0	41.7	25.0	2.1	6.3	
定住年数	1年未満	7	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0
	1年以上～5年未満	12	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
	5年以上～10年未満	18	5.6	55.6	27.8	11.1	0.0
	10年以上～20年未満	69	36.2	53.6	7.2	1.4	1.4
	20年以上	898	31.4	44.3	19.5	2.3	2.4

【居住地域別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、久々野地域（92.1%）が最も高く、次いで高根地域（87.5%）、一之宮地域（86.4%）が高い。一方、上宝・奥飛驒温泉郷地域（66.7%）が最も低く、次いで東地区（68.5%）、三枝地区（71.4%）が低い。

【定住年数別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、10年以上～20年未満（89.8%）が最も高く、5年以上～10年未満（61.2%）が最も低い。

## 2 今後の重要課題

- ・ 1位から8位までの順位は、前回（R3）の調査結果と同じである。
- ・ 前回（R3）の調査結果に比べ、特に「急激な高齢者の増加への対応」「少子化対策」「人口減少への対応」の割合が上昇している。

問2 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。  
（3つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（R3）	
				順位	回答率(%)
1	医療・福祉サービスの確保	443	43.5	1	46.3
2	急激な高齢者の増加への対応	404	39.6	2	35.2
3	少子化対策	330	32.4	3	28.3
4	人口減少への対応	291	28.6	4	25.1
5	地震や豪雨災害などへの備え	236	23.2	5	25.1
6	雇用の場の創出	234	23.0	6	22.3
7	地域経済の活性化	224	22.0	7	20.6
8	道路環境の整備や公共交通の充実	107	10.5	8	11.0
9	地域力の向上や魅力ある地域づくり	99	9.7	11	9.3
10	農林畜産業の振興	93	9.1	14	7.2
11	自然環境の保全	87	8.5	13	8.5
12	学校教育や生涯学習の充実	77	7.6	9	10.5
13	安全安心の確保	76	7.5	9	10.5
14	観光の振興	74	7.3	12	9.0
15	自然エネルギーへの転換	51	5.0	17	4.9
16	効率的で持続可能な行財政運営の推進	42	4.1	15	5.7
17	伝統文化の保存・活用	37	3.6	16	5.1
18	郷土への誇り・愛着の醸成	32	3.1	18	2.4
19	海外戦略	15	1.5	19	1.6
20	文化芸術の振興	12	1.2	20	1.4
—	その他	16	1.6	—	2.1
—	無回答	8	0.8	—	0.6
	計	2,988			

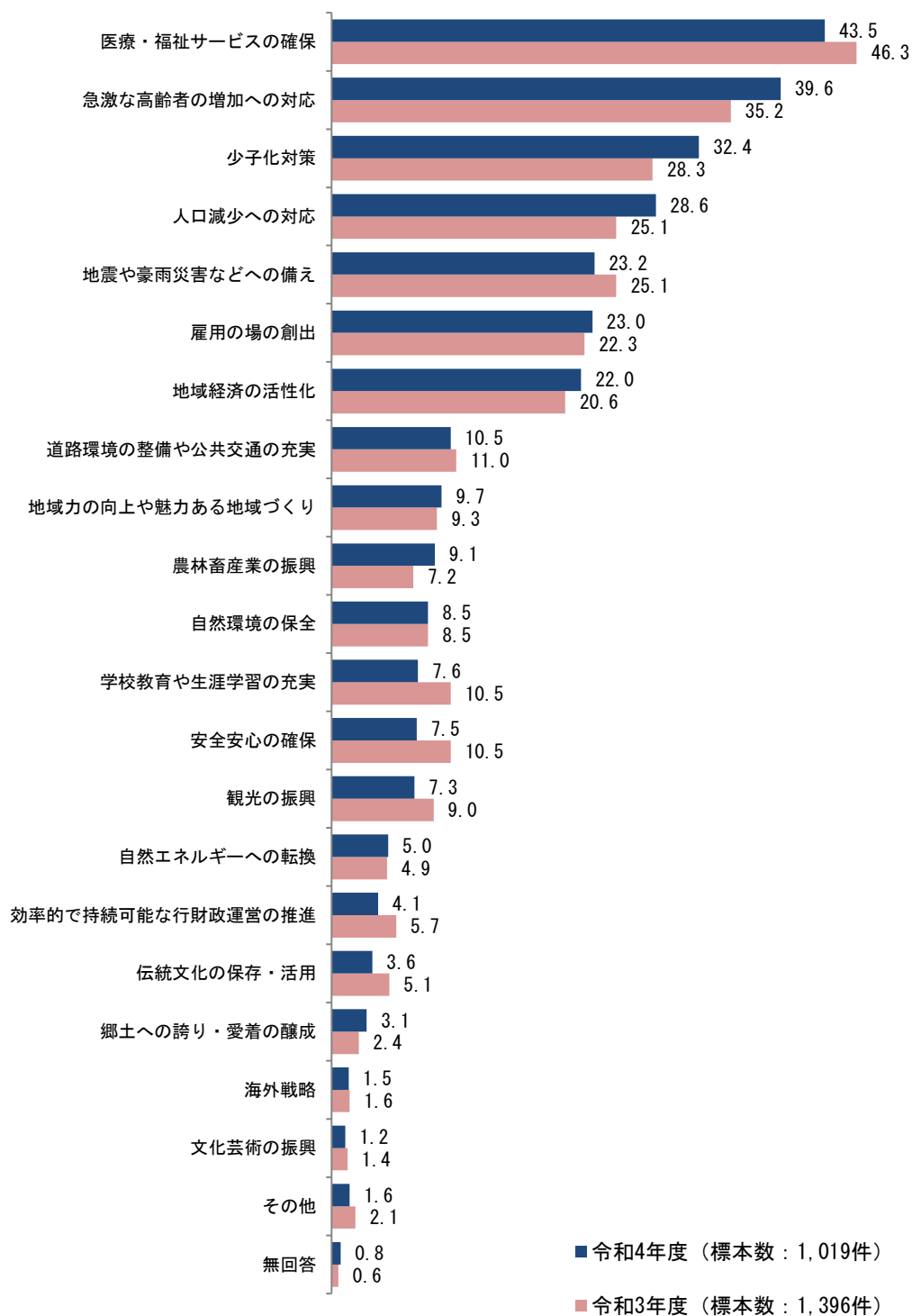
（標本数：1,019件）

（標本数：1,396件）

※「その他」内容

- ・ 「新火葬場の早期建設」、「スポーツ施設・設備の充実」 など

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		54	85	143	178	230	317
今後の重要課題（%）	医療・福祉サービスの確保	35.2	42.4	43.4	47.8	39.1	45.7
	急激な高齢者の増加への対応	13.0	16.5	37.8	36.5	45.2	49.2
	少子化対策	38.9	64.7	37.1	27.0	29.1	25.9
	人口減少への対応	27.8	14.1	23.1	25.8	31.7	35.0
	地震や豪雨災害などへの備え	16.7	30.6	28.7	23.6	19.1	22.1
	雇用の場の創出	20.4	16.5	19.6	33.1	26.5	18.9
	地域経済の活性化	18.5	25.9	25.9	21.9	23.0	19.2
	道路環境の整備や公共交通の充実	14.8	10.6	11.2	16.3	10.4	6.3
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	11.1	4.7	11.2	11.8	10.9	8.5
	農林畜産業の振興	7.4	7.1	8.4	4.5	10.9	11.4
	自然環境の保全	9.3	8.2	8.4	7.3	10.4	7.6
	学校教育や生涯学習の充実	14.8	12.9	15.4	7.3	5.2	3.5
	安全安心の確保	3.7	9.4	4.9	6.7	9.6	7.6
	観光の振興	13.0	9.4	8.4	6.7	7.8	4.7
	自然エネルギーへの転換	9.3	4.7	4.9	3.9	5.2	5.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	9.3	3.5	4.2	3.4	4.3	3.8
	伝統文化の保存・活用	11.1	0.0	3.5	3.4	2.2	4.7
	郷土への誇り・愛着の醸成	7.4	2.4	4.2	2.8	1.3	3.8
	海外戦略	9.3	4.7	2.1	0.6	0.9	0.0
文化芸術の振興	3.7	1.2	1.4	0.0	1.3	0.9	
その他	5.6	0.0	0.7	1.7	1.3	1.9	
無回答	0.0	1.2	0.0	0.6	0.4	1.3	

【年齢別】

- ・ 30代以下は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・ 40代、50代は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・ 60代以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		642	35	63	80	117	97	40	63	35	38	6	68
今後の重要課題（%）	医療・福祉サービスの確保	44.5	34.3	39.7	37.5	52.1	45.4	55.0	39.7	48.6	39.5	33.3	48.5
	急激な高齢者の増加への対応	41.0	31.4	44.4	48.8	43.6	43.3	37.5	33.3	40.0	36.8	50.0	36.8
	少子化対策	33.0	25.7	39.7	36.3	29.9	26.8	35.0	41.3	31.4	39.5	16.7	30.9
	人口減少への対応	27.9	25.7	30.2	36.3	23.1	32.0	15.0	15.9	25.7	18.4	50.0	42.6
	地震や豪雨災害などへの備え	24.6	22.9	20.6	21.3	26.5	18.6	37.5	19.0	31.4	26.3	66.7	27.9
	雇用の場の創出	22.7	22.9	20.6	16.3	23.1	34.0	10.0	22.2	31.4	26.3	0.0	19.1
	地域経済の活性化	21.7	28.6	23.8	21.3	19.7	20.6	25.0	27.0	20.0	23.7	33.3	13.2
	道路環境の整備や公共交通の充実	10.3	11.4	9.5	6.3	12.0	9.3	12.5	7.9	14.3	21.1	0.0	7.4
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	8.9	8.6	9.5	7.5	7.7	8.2	15.0	6.3	11.4	5.3	33.3	10.3
	農林畜産業の振興	7.6	5.7	3.2	8.8	3.4	7.2	12.5	15.9	14.3	2.6	16.7	7.4
	自然環境の保全	9.2	14.3	9.5	10.0	6.0	7.2	10.0	17.5	5.7	10.5	0.0	7.4
	学校教育や生涯学習の充実	7.6	5.7	7.9	10.0	5.1	9.3	12.5	7.9	5.7	5.3	16.7	5.9
	安全安心の確保	7.0	11.4	9.5	6.3	6.0	5.2	7.5	6.3	2.9	5.3	0.0	11.8
	観光の振興	8.1	11.4	9.5	8.8	5.1	5.2	5.0	17.5	14.3	7.9	0.0	4.4
	自然エネルギーへの転換	4.4	2.9	3.2	2.5	6.0	4.1	2.5	11.1	2.9	5.3	0.0	1.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	3.3	8.6	0.0	1.3	2.6	3.1	5.0	6.3	2.9	0.0	0.0	5.9
	伝統文化の保存・活用	4.2	0.0	6.3	7.5	6.0	7.2	0.0	1.6	2.9	2.6	0.0	0.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	3.6	5.7	6.3	3.8	3.4	4.1	0.0	3.2	2.9	5.3	16.7	0.0
	海外戦略	1.9	2.9	0.0	3.8	2.6	1.0	2.5	0.0	5.7	2.6	0.0	0.0
	文化芸術の振興	0.9	0.0	1.6	0.0	0.0	2.1	2.5	1.6	0.0	0.0	0.0	1.5
その他	1.9	2.9	0.0	3.8	3.4	1.0	0.0	1.6	2.9	0.0	0.0	1.5	
無回答	0.8	2.9	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域
標本数（件）		62	23	18	22	38	20	8	101	48
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	41.9	43.5	44.4	31.8	34.2	45.0	25.0	46.5	50.0
	急激な高齢者の増加への対応	37.1	47.8	33.3	40.9	26.3	40.0	37.5	32.7	45.8
	少子化対策	32.3	34.8	33.3	50.0	34.2	25.0	12.5	28.7	29.2
	人口減少への対応	24.2	26.1	27.8	22.7	42.1	40.0	25.0	30.7	33.3
	地震や豪雨災害などへの備え	14.5	34.8	16.7	13.6	18.4	30.0	25.0	22.8	14.6
	雇用の場の創出	19.4	21.7	33.3	9.1	28.9	50.0	0.0	18.8	25.0
	地域経済の活性化	25.8	17.4	22.2	45.5	10.5	10.0	37.5	21.8	22.9
	道路環境の整備や公共交通の充実	14.5	4.3	5.6	13.6	7.9	5.0	12.5	9.9	20.8
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.7	17.4	11.1	9.1	15.8	10.0	37.5	11.9	8.3
	農林畜産業の振興	22.6	4.3	16.7	0.0	18.4	10.0	37.5	11.9	0.0
	自然環境の保全	6.5	4.3	11.1	4.5	10.5	5.0	0.0	7.9	10.4
	学校教育や生涯学習の充実	4.8	4.3	0.0	9.1	5.3	5.0	0.0	7.9	14.6
	安全安心の確保	11.3	13.0	5.6	4.5	10.5	0.0	0.0	9.9	4.2
	観光の振興	1.6	8.7	5.6	22.7	5.3	5.0	0.0	3.0	6.3
	自然エネルギーへの転換	9.7	8.7	0.0	9.1	2.6	10.0	0.0	5.0	4.2
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	1.6	8.7	5.6	4.5	2.6	5.0	12.5	8.9	6.3
	伝統文化の保存・活用	1.6	0.0	0.0	4.5	2.6	0.0	12.5	5.0	2.1
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.6	0.0	5.6	0.0	5.3	0.0	0.0	2.0	4.2
	海外戦略	1.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
文化芸術の振興	3.2	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	
その他	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	1.0	0.0	
無回答	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	

【居住地域別】

- ・全20地域（地区）中12地区で「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・全20地域（地区）中4地区で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		108	250	425	(114)	194	(108)	13
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	43.5	44.0	43.8	(42.1)	42.3	(41.7)	38.5
	急激な高齢者の増加への対応	46.3	43.2	34.6	(23.7)	40.7	(35.2)	23.1
	少子化対策	23.1	28.8	32.2	(55.3)	42.8	(47.2)	46.2
	人口減少への対応	23.1	36.8	27.3	(22.8)	24.7	(25.0)	23.1
	地震や豪雨災害などへの備え	23.1	18.8	26.6	(28.1)	20.1	(19.4)	15.4
	雇用の場の創出	16.7	23.2	23.8	(20.2)	25.3	(22.2)	23.1
	地域経済の活性化	20.4	22.8	22.6	(21.1)	22.7	(24.1)	15.4
	道路環境の整備や公共交通の充実	10.2	8.8	12.5	(13.2)	8.8	(9.3)	7.7
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	10.2	12.0	7.5	(6.1)	11.3	(13.9)	15.4
	農林畜産業の振興	8.3	5.6	10.1	(10.5)	12.4	(13.9)	7.7
	自然環境の保全	14.8	8.0	8.5	(5.3)	7.2	(11.1)	7.7
	学校教育や生涯学習の充実	4.6	5.2	8.7	(15.8)	10.3	(13.9)	15.4
	安全安心の確保	9.3	7.2	8.5	(3.5)	5.7	(7.4)	0.0
	観光の振興	11.1	6.0	7.8	(8.8)	5.2	(5.6)	0.0
	自然エネルギーへの転換	2.8	5.2	4.5	(4.4)	4.6	(5.6)	30.8
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	7.4	3.6	4.0	(3.5)	2.6	(1.9)	7.7
	伝統文化の保存・活用	6.5	2.0	4.0	(2.6)	3.6	(2.8)	0.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	5.6	2.4	2.8	(1.8)	3.6	(0.9)	0.0
	海外戦略	3.7	0.8	0.9	(2.6)	2.1	(1.9)	7.7
	文化芸術の振興	0.0	1.6	1.2	(0.9)	1.0	0.0	0.0
その他	1.9	2.4	1.2	0.0	1.5	(1.9)	0.0	
無回答	0.0	0.8	0.9	(0.9)	0.5	0.0	0.0	

【家族構成別】

- ・夫婦のみ、二世帯世帯の家族構成では「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・中学生以下の子と同居する二世帯世帯・三世帯世帯、その他の家族構成では「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・単身世帯では「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		66	114	301	185	70	8	239	17
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	47.0	33.3	40.9	47.6	51.4	37.5	46.4	35.3
	急激な高齢者の増加への対応	27.3	35.1	33.6	42.2	52.9	25.0	48.1	35.3
	少子化対策	33.3	27.2	39.5	30.8	31.4	37.5	24.3	58.8
	人口減少への対応	24.2	37.7	28.6	23.2	20.0	37.5	31.8	23.5
	地震や豪雨災害などへの備え	12.1	14.0	23.9	26.5	28.6	12.5	25.9	23.5
	雇用の場の創出	16.7	20.2	24.9	28.1	17.1	12.5	18.8	29.4
	地域経済の活性化	19.7	33.3	25.2	20.5	17.1	12.5	17.6	11.8
	道路環境の整備や公共交通の充実	12.1	8.8	12.6	13.5	5.7	25.0	7.1	11.8
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	10.6	9.6	9.3	9.7	8.6	12.5	9.6	17.6
	農林畜産業の振興	47.0	7.9	4.7	8.6	2.9	0.0	8.4	0.0
	自然環境の保全	7.6	7.9	9.0	8.6	8.6	0.0	9.2	5.9
	学校教育や生涯学習の充実	6.1	7.0	12.6	5.9	1.4	12.5	4.6	5.9
	安全安心の確保	4.5	7.0	5.3	7.6	15.7	0.0	8.8	17.6
	観光の振興	3.0	16.7	7.0	5.4	8.6	12.5	5.4	5.9
	自然エネルギーへの転換	9.1	4.4	4.3	4.9	5.7	12.5	5.0	5.9
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	0.0	4.4	5.3	3.2	1.4	0.0	5.4	5.9
	伝統文化の保存・活用	3.0	6.1	3.3	3.8	4.3	0.0	3.3	0.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.5	5.3	3.7	1.1	5.7	12.5	2.9	0.0
	海外戦略	1.5	1.8	3.0	0.0	1.4	12.5	0.0	5.9
	文化芸術の振興	0.0	0.0	0.7	2.2	1.4	0.0	1.7	0.0
その他	1.5	2.6	1.3	1.1	1.4	0.0	2.1	0.0	
無回答	0.0	2.6	0.0	0.0	1.4	0.0	1.3	0.0	

【職業別】

- ・農林畜産業、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職及び学生は「医療・福祉サービス」の割合が最も高い。（農林畜産業は「農林畜産業の振興」と、学生は「少子化対策」及び「人口減少への対応」と同率）。
- ・自営業（商工業、サービス業、建設業）は「人口減少への対応」が、家事従事者及び無職は「急激な高齢者の増加への対応」が、その他の職業では「少子化対策」の割合が最も高い。



属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		7	12	18	69	898
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	57.1	33.3	33.3	46.4	43.9
	急激な高齢者の増加への対応	28.6	33.3	11.1	27.5	41.3
	少子化対策	42.9	50.0	38.9	37.7	31.2
	人口減少への対応	42.9	41.7	16.7	24.6	29.0
	地震や豪雨災害などへの備え	14.3	25.0	33.3	21.7	23.1
	雇用の場の創出	42.9	8.3	11.1	20.3	23.2
	地域経済の活性化	14.3	33.3	22.2	15.9	22.6
	道路環境の整備や公共交通の充実	0.0	8.3	5.6	5.8	11.2
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	0.0	0.0	11.1	11.6	9.6
	農林畜産業の振興	0.0	8.3	11.1	8.7	9.2
	自然環境の保全	14.3	8.3	16.7	11.6	8.2
	学校教育や生涯学習の充実	0.0	8.3	22.2	27.5	5.7
	安全安心の確保	0.0	0.0	5.6	4.3	7.9
	観光の振興	14.3	16.7	27.8	2.9	7.0
	自然エネルギーへの転換	0.0	8.3	5.6	11.6	4.6
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	0.0	8.3	11.1	5.8	3.8
	伝統文化の保存・活用	0.0	0.0	0.0	4.3	3.8
	郷土への誇り・愛着の醸成	14.3	0.0	0.0	5.8	3.0
	海外戦略	0.0	8.3	0.0	1.4	1.4
	文化芸術の振興	0.0	0.0	5.6	2.9	0.9
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	

【定住年数別】

- ・ 1年未満、10年以上～20年未満、20年以上は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上～5年未満、5年以上～10年未満では「少子化対策」の割合が最も高い。

### 3 高山市の取り組みに対する満足度

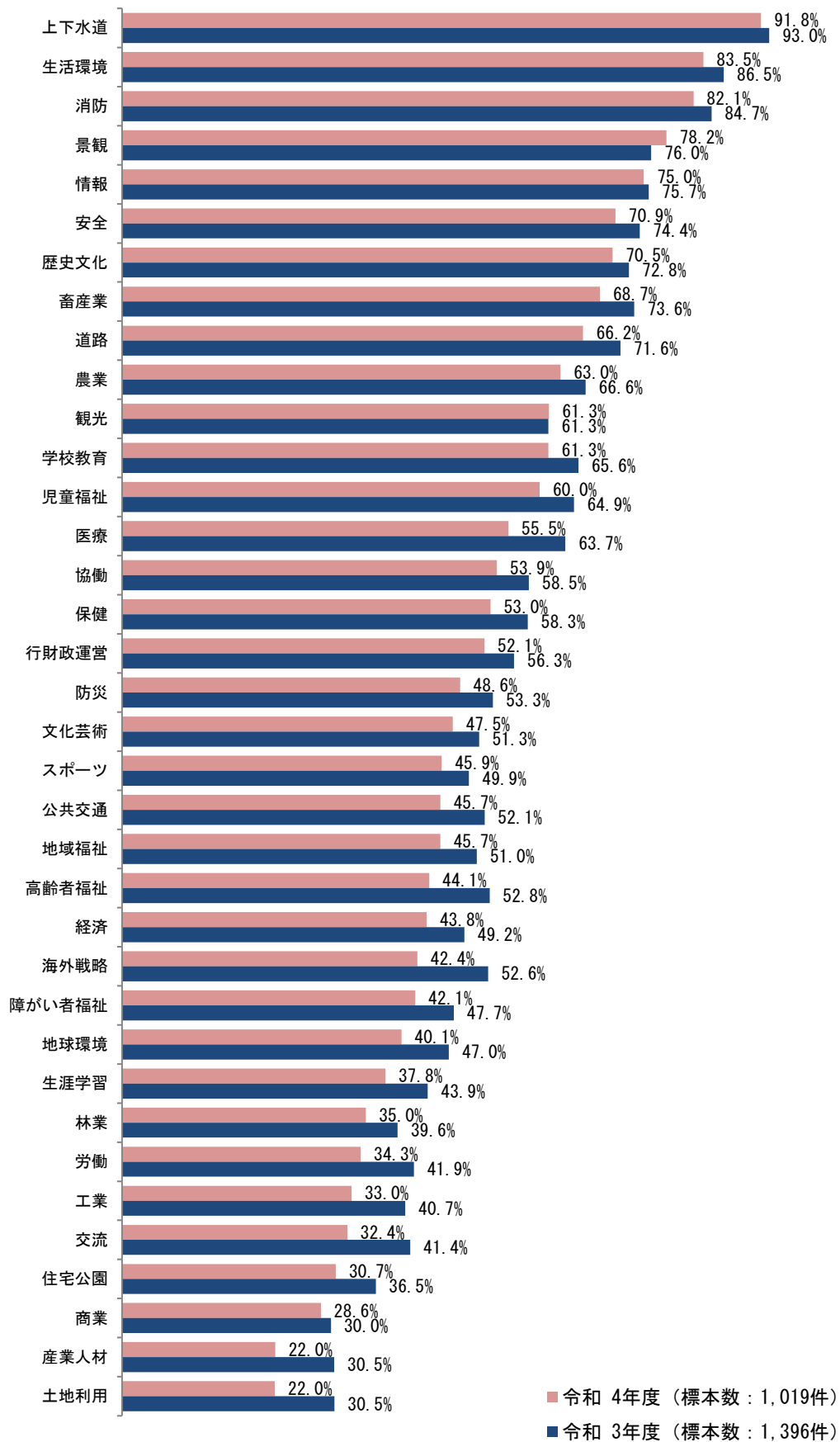
- ・満足度の高い分野は、高い順に「上下水道」分野（91.8%）、「生活環境」分野（83.5%）、「消防」分野（82.1%）となっている。
- ・上位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
  - 「上下水道」：初回調査の2位以降は1位で順位が高い状態で推移
  - 「生活環境」：初回調査の1位から順位が低下
  - 「消防」：初回調査の3位から、順位が低下（最低7位）したものの、その後上昇傾向
- ・満足度の低い分野は、低い順に「土地利用」分野（22.0%）、「産業人材」分野（22.0%）、「商業」分野（28.6%）となっている。
- ・下位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
  - 「土地利用」：初回調査以降、下位から2位又は3位で推移し、今回最下位
  - 「産業人材」：H31の調査開始以降、最下位だったが、前回の調査から上昇
  - 「商業」：初回調査の33位から、最高で28位の時もあったが、近年低下傾向
- ・前回（R3）の調査結果から、7位と8位の順位が入れ替わっているものの、1位から10位までの順位に変動はない。
- ・前回（R3）の調査結果に比べ、特に「文化芸術」分野、「スポーツ」分野の順位が上昇し、「高齢者福祉」分野、「海外戦略」分野の順位が下降している。

問3 あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。  
それぞれの分野の設問ごとにあなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。  
(それぞれの設問ごとに1つに○印)

(満足度の算出方法)

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

順位	満足度 (%)	分野	設問	回答数 (件)					前回調査 (R3)	
			満足度指標	感じている	やや感じている	あまり感じない	感じていない	無回答	順位	満足度 (%)
1	91.8%	上下水道	あなたは、「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じていますか。	508	424	65	18	4	1	93.0%
2	83.5%	生活環境	あなたは、「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じていますか。	331	516	133	34	5	2	86.5%
3	82.1%	消防	あなたは、「消防・救急救助体制が整っている」と感じていますか。	283	548	156	25	7	3	84.7%
4	78.2%	景観	あなたは、「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じていますか。	256	534	187	33	9	4	76.0%
5	75.0%	情報	あなたは、「テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている」と感じていますか。	282	473	197	55	12	5	75.7%
6	70.9%	安全	あなたは、「犯罪や交通事故などが少なく、安全に暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	158	558	254	40	9	6	74.4%
7	70.5%	歴史文化	あなたは、「文化財や伝統芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じていますか。	193	518	248	50	10	8	72.8%
8	68.7%	畜産業	あなたは、「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じていますか。	182	510	268	48	11	7	73.6%
9	66.2%	道路	あなたは、「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じていますか。	186	483	267	74	9	9	71.6%
10	63.0%	農業	あなたは、「地元の農産物が広く消費され、農業が活性化している」と感じていますか。	109	528	310	64	8	10	66.6%
11	61.3%	観光	あなたは、「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じていますか。	155	467	324	68	5	14	61.3%
12	61.3%	学校教育	あなたは、「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じていますか。	92	522	313	75	17	11	65.6%
13	60.0%	児童福祉	あなたは、「子どもが健やかに育つ環境が整っている」と感じていますか。	97	506	327	75	14	12	64.9%
14	55.5%	医療	あなたは、「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じていますか。	147	417	333	119	3	13	63.7%
15	53.9%	協働	あなたは、「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じていますか。	109	435	386	80	9	15	58.5%
16	53.0%	保健	あなたは、「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じていますか。	94	442	402	74	7	16	58.3%
17	52.1%	行財政運営	あなたは、「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じていますか。	94	432	398	86	9	17	56.3%
18	48.6%	防災	あなたは、「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じていますか。	58	433	439	81	8	18	53.3%
19	47.5%	文化芸術	あなたは、「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じていますか。	83	396	424	105	11	22	51.3%
20	45.9%	スポーツ	あなたは、「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じていますか。	75	388	440	105	11	24	49.9%
21	45.7%	公共交通	あなたは、「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じていますか。	135	327	339	209	9	21	52.1%
22	45.7%	地域福祉	あなたは、「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	66	394	461	85	13	23	51.0%
23	44.1%	高齢者福祉	あなたは、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	68	380	443	124	4	19	52.8%
24	43.8%	経済	あなたは、「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環している」と感じていますか。	61	381	485	83	9	25	49.2%
25	42.4%	海外戦略	あなたは、「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じていますか。	108	318	431	147	15	20	52.6%
26	42.1%	障がい者福祉	あなたは、「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	67	356	485	96	15	26	47.7%
27	40.1%	地球環境	あなたは、「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じていますか。	66	337	503	98	15	27	47.0%
28	37.8%	生涯学習	あなたは、「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じていますか。	61	320	533	93	12	28	43.9%
29	35.0%	林業	あなたは、「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じていますか。	50	303	494	161	11	32	39.6%
30	34.3%	労働	あなたは、「若者、女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている」と感じていますか。	59	287	531	132	10	29	41.9%
31	33.0%	工業	あなたは、「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じていますか。	48	285	558	119	9	31	40.7%
32	32.4%	交流	あなたは、「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じていますか。	58	267	540	139	15	30	41.4%
33	30.7%	住宅公園	あなたは、「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じていますか。	66	244	447	252	10	33	36.5%
34	28.6%	商業	あなたは、「個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している」と感じていますか。	36	254	534	191	4	36	30.0%
35	22.0%	産業人材	あなたは、「地域産業が受け継がれるための人材の確保・後継者育成が進んでいる」と感じていますか。	27	195	650	136	11	35	30.5%
36	22.0%	土地利用	あなたは、「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じていますか。	32	188	593	189	17	34	30.5%



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		54	85	143	178	230	317
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	98.1	95.3	90.1	88.7	91.7	92.4
	生活環境	83.3	84.5	79.7	80.9	81.7	87.5
	消防	79.6	74.1	79.7	76.4	83.0	88.1
	景観	87.0	89.4	83.9	81.5	69.0	76.1
	情報	79.6	72.9	81.1	75.3	71.9	73.7
	安全	81.5	67.1	74.8	69.5	68.4	70.7
	歴史文化	70.4	71.8	68.5	64.4	69.9	74.4
	畜産業	70.4	74.1	71.1	70.2	66.2	67.3
	道路	63.0	72.9	72.7	62.1	60.0	68.9
	農業	63.0	64.7	67.6	61.2	57.4	65.3
	観光	75.9	68.2	60.8	56.7	55.5	63.3
	学校教育	61.1	61.2	65.7	60.1	56.1	63.6
	児童福祉	57.4	61.2	67.1	57.9	55.7	60.7
	医療	64.8	45.9	50.3	39.3	50.2	70.8
	協働	51.9	52.9	55.9	47.2	45.9	62.1
	保健	55.6	42.4	42.7	44.4	48.7	66.8
	行財政運営	50.0	56.5	55.9	47.2	43.5	57.8
	防災	42.6	47.1	49.7	48.0	40.9	54.8
	文化芸術	50.0	55.3	54.5	43.3	42.8	46.9
	スポーツ	48.1	47.1	49.7	42.4	38.4	49.8
	公共交通	37.0	50.0	51.7	33.9	40.2	53.1
	地域福祉	55.6	47.1	49.0	42.1	37.6	49.5
	高齢者福祉	61.1	48.2	38.5	37.1	35.4	52.5
	経済	63.0	48.2	39.9	42.1	38.9	44.5
	海外戦略	59.3	51.8	43.0	38.2	40.5	40.7
	障がい者福祉	44.4	44.7	41.3	34.5	35.4	50.0
	地球環境	63.0	45.9	45.5	42.0	30.4	38.4
	生涯学習	35.2	28.2	42.7	28.8	36.1	44.3
	林業	61.1	51.8	47.9	32.0	27.5	27.3
	労働	42.6	45.9	47.9	28.1	24.3	34.4
工業	46.3	43.5	39.4	25.8	27.9	32.6	
交流	33.3	29.4	37.8	28.2	27.5	35.4	
住宅公園	37.0	34.1	38.5	29.2	24.0	30.2	
商業	48.1	38.8	32.2	23.0	24.9	27.4	
産業人材	22.2	15.3	20.4	15.8	21.8	28.8	
土地利用	38.9	27.1	29.4	18.1	13.5	22.1	

【年齢別】

- ・全ての年代で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		642	35	63	80	117	97	40	63	35	38	6	68
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	92.7	91.4	95.2	93.8	87.1	97.9	89.7	95.2	88.6	86.8	100.0	95.6
	生活環境	81.9	80.0	82.5	86.1	80.2	87.6	77.5	92.1	77.1	71.1	83.3	73.5
	消防	82.0	85.7	87.3	83.5	79.1	85.6	77.5	74.2	71.4	84.2	50.0	89.7
	景観	79.6	80.0	82.5	80.8	79.1	79.2	85.0	69.4	77.1	78.9	100.0	82.4
	情報	76.1	82.9	84.1	71.8	75.4	77.7	70.0	75.8	80.0	62.2	50.0	80.9
	安全	71.1	71.4	76.2	79.7	61.4	72.2	75.0	66.1	65.7	73.7	83.3	73.5
	歴史文化	72.1	88.2	66.7	76.3	70.4	82.3	72.5	63.5	62.9	65.8	50.0	70.6
	畜産業	69.2	79.4	77.4	66.3	70.4	69.8	57.5	69.8	68.6	68.4	83.3	63.2
	道路	67.0	65.7	74.6	70.5	68.1	70.8	62.5	64.5	60.0	43.2	66.7	70.6
	農業	64.7	64.7	66.1	70.0	69.8	66.3	60.0	55.6	48.6	57.9	100.0	66.2
	観光	59.4	70.6	68.3	67.5	57.3	58.3	62.5	47.6	54.3	60.5	83.3	50.0
	学校教育	59.4	70.6	61.9	58.4	56.5	62.5	56.4	63.5	60.0	37.8	83.3	60.3
	児童福祉	58.4	79.4	61.3	59.5	59.1	52.1	56.4	55.6	68.6	43.2	50.0	58.8
	医療	56.0	62.9	47.6	65.0	50.0	58.8	52.5	50.8	57.1	55.3	83.3	60.3
	協働	53.5	45.7	55.6	50.0	50.4	59.4	62.5	52.4	42.9	50.0	66.7	58.2
	保健	51.3	48.6	55.6	51.3	48.3	55.8	45.0	52.4	48.6	42.1	50.0	56.7
	行財政運営	51.2	40.0	60.3	51.3	47.4	50.0	57.5	43.5	51.4	50.0	50.0	60.3
	防災	47.3	45.7	50.8	50.0	44.3	43.8	45.0	50.0	45.7	39.5	50.0	55.9
	文化芸術	46.6	52.9	39.7	57.0	39.1	45.8	50.0	55.6	31.4	31.6	50.0	57.4
	スポーツ	45.2	44.1	52.4	45.6	40.5	49.0	48.7	47.6	31.4	36.8	50.0	48.5
	公共交通	48.7	54.3	55.6	48.1	48.3	47.4	46.2	44.4	51.4	23.7	33.3	61.8
	地域福祉	43.8	51.4	40.3	45.0	42.6	41.1	37.5	42.9	42.9	43.2	83.3	49.3
	高齢者福祉	42.7	51.4	49.2	52.5	37.9	38.5	42.5	42.9	42.9	36.8	50.0	36.8
	経済	44.0	48.6	50.0	37.5	44.8	49.5	55.0	31.7	37.1	37.8	66.7	44.1
	海外戦略	41.7	58.8	39.7	41.8	42.1	38.9	52.5	42.9	36.4	28.9	50.0	39.7
	障がい者福祉	42.8	51.4	41.9	48.1	40.4	44.3	37.5	39.7	38.2	54.1	66.7	34.8
	地球環境	39.7	45.7	43.5	44.9	37.4	38.5	37.5	38.7	36.4	31.6	50.0	39.7
	生涯学習	37.6	37.1	41.3	35.4	34.8	42.1	37.5	38.1	29.4	34.2	66.7	38.2
林業	36.3	41.2	43.5	37.5	38.3	36.1	40.0	31.7	36.4	31.6	16.7	29.4	
労働	34.9	38.2	37.1	36.3	40.0	33.3	45.0	27.0	28.6	28.9	50.0	29.4	
工業	33.3	54.3	40.3	33.8	27.2	35.1	37.5	28.6	23.5	28.9	66.7	29.4	
交流	31.9	38.2	34.9	41.8	32.2	33.7	38.5	33.3	17.6	18.4	33.3	20.6	
住宅公園	31.2	34.3	34.9	37.5	40.0	28.4	17.9	28.6	22.9	18.4	33.3	29.4	
商業	24.3	37.1	20.6	26.3	19.7	26.8	22.5	20.6	25.7	18.4	33.3	29.4	
産業人材	22.8	26.5	25.8	24.1	21.7	25.0	35.0	17.5	22.9	10.5	16.7	20.6	
土地利用	21.2	18.2	20.6	32.9	20.2	21.9	23.1	20.6	17.6	15.8	0.0	16.2	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	奥飛騨温泉郷地域 上室・
標本数（件）		62	23	18	22	38	20	8	101	48
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	86.9	95.5	88.9	100.0	89.5	90.0	87.5	90.1	91.7
	生活環境	82.0	90.9	83.3	95.5	81.6	75.0	100.0	92.1	89.4
	消防	91.7	90.9	77.8	81.8	84.2	85.0	75.0	84.2	66.7
	景観	77.4	86.4	61.1	85.7	78.4	60.0	75.0	80.2	56.3
	情報	79.0	77.3	55.6	86.4	76.3	55.0	75.0	79.2	56.3
	安全	68.3	86.4	83.3	81.8	65.8	75.0	75.0	69.3	59.6
	歴史文化	70.0	69.6	55.6	81.0	60.5	70.0	62.5	69.0	59.6
	畜産業	67.2	60.9	52.9	81.0	81.1	70.0	85.7	70.0	50.0
	道路	70.5	90.9	50.0	63.6	60.5	65.0	75.0	73.0	47.9
	農業	71.0	52.2	58.8	71.4	55.3	50.0	50.0	59.4	50.0
	観光	65.6	73.9	55.6	66.7	73.7	75.0	37.5	58.4	64.6
	学校教育	63.3	63.6	55.6	71.4	68.4	89.5	62.5	64.6	58.3
	児童福祉	65.0	65.2	50.0	66.7	60.5	73.7	50.0	64.0	56.3
	医療	58.1	56.5	44.4	50.0	48.6	70.0	87.5	62.4	39.6
	協働	61.7	54.5	38.9	68.2	44.7	60.0	75.0	54.5	50.0
	保健	66.1	63.6	50.0	47.6	63.2	55.0	37.5	59.4	43.8
	行財政運営	65.6	59.1	44.4	45.5	52.6	65.0	75.0	52.5	50.0
	防災	56.5	63.6	50.0	36.4	55.3	40.0	50.0	56.4	38.3
	文化芸術	46.7	54.5	61.1	57.1	60.5	35.0	37.5	54.0	35.4
	スポーツ	50.8	59.1	44.4	52.4	60.5	55.0	50.0	43.6	27.7
	公共交通	41.7	42.9	16.7	47.6	36.8	35.0	37.5	49.5	29.8
	地域福祉	47.5	47.6	55.6	68.2	50.0	70.0	50.0	47.5	37.5
	高齢者福祉	54.8	39.1	44.4	54.5	48.6	55.0	75.0	45.5	33.3
	経済	47.5	50.0	38.9	38.1	44.7	50.0	50.0	45.0	33.3
	海外戦略	44.3	47.8	38.9	52.4	44.7	40.0	62.5	43.4	39.6
	障がい者福祉	51.7	40.9	22.2	52.4	50.0	50.0	50.0	37.0	27.1
	地球環境	41.9	38.1	44.4	52.4	42.1	30.0	50.0	42.6	37.0
	生涯学習	45.9	57.1	33.3	33.3	39.5	35.0	25.0	39.6	25.5
林業	32.8	27.3	35.3	42.9	34.2	15.0	87.5	29.0	20.8	
労働	40.3	38.1	29.4	38.1	23.7	20.0	50.0	35.0	29.2	
工業	36.1	26.1	29.4	42.9	34.2	35.0	37.5	27.0	22.9	
交流	36.1	36.4	22.2	28.6	50.0	65.0	50.0	23.0	25.5	
住宅公園	41.7	27.3	27.8	28.6	23.7	30.0	12.5	32.0	20.8	
商業	34.4	34.8	27.8	47.6	31.6	60.0	37.5	39.0	29.2	
産業人材	25.8	22.7	23.5	23.8	13.2	25.0	14.3	21.0	18.8	
土地利用	36.7	28.6	16.7	28.6	31.6	5.0	12.5	23.0	12.8	

【居住地域別】

- ・全20地域（地区）中17地区・地域で「上下水道」の割合が最も高い。
- ・丹生川地域で「消防」が、高根地域及び国府地域で「生活環境」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		108	250	425	(114)	194	(108)	13
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	88.9	94.4	91.3	(89.5)	91.8	(91.7)	92.3
	生活環境	77.8	86.0	83.5	(80.7)	83.4	(86.0)	91.7
	消防	74.1	85.9	79.1	(74.6)	87.1	(88.0)	84.6
	景観	63.9	76.1	80.9	(87.7)	82.4	(80.4)	100.0
	情報	69.4	76.8	74.0	(79.0)	77.7	(75.7)	84.6
	安全	65.7	74.0	68.6	(72.8)	74.7	(69.4)	53.8
	歴史文化	63.6	71.0	68.0	(64.0)	77.8	(76.9)	76.9
	畜産業	67.0	66.7	69.8	(67.5)	70.1	(70.4)	69.2
	道路	60.7	63.2	66.3	(75.4)	71.5	(67.3)	61.5
	農業	57.0	64.1	62.8	(63.2)	64.9	(65.7)	53.8
	観光	58.3	62.8	60.3	(58.8)	66.0	(63.9)	61.5
	学校教育	52.4	59.4	62.4	(68.1)	66.5	(66.7)	61.5
	児童福祉	49.5	59.2	62.6	(65.2)	62.4	(63.9)	53.8
	医療	53.7	58.0	53.8	(53.5)	54.9	(55.1)	53.8
	協働	46.7	56.6	52.4	(56.1)	55.4	(53.3)	53.8
	保健	55.1	55.0	50.0	(46.9)	53.1	(54.6)	61.5
	行財政運営	45.8	50.0	50.1	(47.4)	61.3	(64.8)	53.8
	防災	44.3	51.0	47.3	(50.9)	48.5	(45.4)	61.5
	文化芸術	37.7	44.7	50.2	(55.3)	50.5	(46.3)	46.2
	スポーツ	29.8	44.1	48.0	(50.9)	51.0	(43.5)	38.5
	公共交通	40.0	45.7	46.1	(46.5)	45.4	(49.1)	66.7
	地域福祉	36.4	45.1	45.0	(47.8)	54.1	(63.0)	30.8
	高齢者福祉	43.5	43.2	44.0	(48.3)	44.0	(40.2)	53.8
	経済	39.6	48.0	44.3	(48.3)	40.1	(43.0)	38.5
	海外戦略	43.9	39.4	41.0	(43.4)	49.5	(48.2)	46.2
	障がい者福祉	32.4	41.9	43.8	(40.2)	41.5	(45.8)	53.8
	地球環境	40.4	34.1	42.6	(53.5)	42.5	(39.3)	23.1
	生涯学習	29.5	39.5	37.1	(42.1)	40.4	(37.4)	38.5
	林業	23.8	33.1	36.5	(48.3)	39.7	(39.8)	30.8
	労働	31.4	26.7	38.2	(49.1)	37.6	(38.0)	38.5
工業	28.3	31.3	34.5	(41.2)	35.6	(36.1)	23.1	
交流	33.7	32.8	32.0	(31.6)	32.5	(32.4)	30.8	
住宅公園	28.0	29.0	32.3	(42.1)	30.2	(29.3)	46.2	
商業	23.1	26.3	30.9	(31.6)	29.9	(31.5)	53.8	
産業人材	19.0	19.5	23.3	(21.1)	24.2	(23.2)	15.4	
土地利用	16.3	19.2	25.3	(27.2)	20.3	(18.7)	15.4	

【家族構成別】

- ・その他の家族構成で「景観」の割合が最も高い。その他の全ての家族構成で「上下水道」の割合が最も高い。



属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員 ・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		66	114	301	185	70	8	239	17
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	92.4	91.2	93.0	92.9	88.6	100.0	89.5	100.0
	生活環境	89.4	85.0	81.7	83.2	87.0	87.5	81.8	88.2
	消防	89.4	82.5	78.7	78.8	87.0	100.0	84.6	82.4
	景観	71.2	80.5	81.4	80.4	72.5	100.0	73.5	88.2
	情報	84.8	69.0	78.1	72.7	75.4	87.5	71.7	82.4
	安全	75.8	66.7	74.1	67.6	73.9	75.0	69.7	58.8
	歴史文化	73.8	67.0	70.1	65.8	74.3	87.5	73.4	70.6
	畜産業	71.9	68.8	70.7	68.1	60.9	75.0	66.7	76.5
	道路	78.5	65.8	67.8	61.7	65.2	50.0	65.1	64.7
	農業	56.1	60.2	63.3	65.4	62.3	62.5	62.1	70.6
	観光	72.3	51.3	61.5	57.8	52.9	87.5	66.1	82.4
	学校教育	68.8	51.4	60.8	66.5	65.2	87.5	58.3	64.7
	児童福祉	66.2	58.9	59.5	61.4	68.6	75.0	55.0	64.7
	医療	72.7	48.2	48.8	48.4	65.7	62.5	65.4	41.2
	協働	64.6	43.9	52.8	52.4	61.8	75.0	54.7	47.1
	保健	72.3	49.6	44.5	44.9	68.6	75.0	60.7	41.2
	行財政運営	66.7	46.5	52.8	46.2	52.2	75.0	52.2	52.9
	防災	60.6	46.5	49.2	41.5	47.8	37.5	51.3	35.3
	文化芸術	51.6	44.6	48.8	44.3	58.6	50.0	44.0	47.1
	スポーツ	60.9	44.2	46.5	40.2	48.6	50.0	43.8	52.9
	公共交通	59.4	47.8	40.5	46.7	41.4	25.0	47.0	52.9
	地域福祉	51.6	41.1	48.5	41.0	47.8	75.0	44.6	41.2
	高齢者福祉	60.6	42.1	39.2	39.7	47.1	50.0	49.2	29.4
	経済	50.0	36.8	40.2	47.6	45.7	87.5	42.9	47.1
	海外戦略	56.3	40.9	43.9	34.8	35.7	75.0	44.4	52.9
	障がい者福祉	46.9	43.4	39.5	40.8	35.3	62.5	44.8	35.3
	地球環境	44.6	37.7	43.9	39.9	26.5	50.0	38.5	58.8
	生涯学習	54.7	29.8	34.2	34.2	50.0	62.5	39.2	29.4
	林業	45.3	33.0	37.7	40.0	30.4	62.5	23.5	58.8
	労働	41.5	32.1	38.3	35.7	40.6	37.5	26.1	29.4
工業	36.9	26.5	32.3	33.5	46.4	37.5	29.1	52.9	
交流	46.0	30.4	31.2	26.6	32.9	75.0	32.5	35.3	
住宅公園	40.0	32.5	33.9	27.0	30.0	50.0	24.7	35.3	
商業	38.5	20.4	30.2	26.5	24.3	25.0	30.8	29.4	
産業人材	37.5	21.6	17.3	19.5	27.5	37.5	23.4	23.5	
土地利用	31.3	16.8	25.2	17.9	18.6	50.0	19.3	41.2	

【職業別】

・全ての職業で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
標本数（件）		7	12	18	69	898
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	100.0	83.3	94.4	92.8	91.7
	生活環境	100.0	75.0	70.6	84.1	83.7
	消防	57.1	83.3	77.8	76.8	82.7
	景観	85.7	91.7	88.9	87.0	77.1
	情報	42.9	66.7	66.7	82.6	75.0
	安全	71.4	66.7	72.2	75.4	70.6
	歴史文化	57.1	58.3	83.3	72.5	70.5
	畜産業	85.7	66.7	77.8	68.1	68.5
	道路	42.9	41.7	55.6	75.4	66.2
	農業	42.9	66.7	83.3	60.9	62.9
	観光	71.4	50.0	77.8	72.5	60.1
	学校教育	57.1	50.0	55.6	62.3	61.6
	児童福祉	57.1	41.7	61.1	59.4	60.4
	医療	57.1	58.3	50.0	50.7	55.8
	協働	71.4	50.0	38.9	63.8	53.3
	保健	42.9	50.0	44.4	58.0	52.6
	行財政運営	57.1	58.3	44.4	59.4	51.3
	防災	42.9	33.3	55.6	58.0	47.9
	文化芸術	28.6	66.7	33.3	59.4	46.6
	スポーツ	28.6	41.7	38.9	59.4	45.2
	公共交通	42.9	33.3	41.2	46.4	45.7
	地域福祉	42.9	66.7	33.3	58.0	44.7
	高齢者福祉	42.9	58.3	50.0	47.8	43.1
	経済	57.1	50.0	55.6	55.1	42.1
	海外戦略	42.9	50.0	44.4	56.7	41.3
	障がい者福祉	28.6	33.3	27.8	46.4	42.0
	地球環境	71.4	58.3	38.9	55.1	38.8
	生涯学習	57.1	33.3	33.3	43.5	37.3
	林業	42.9	41.7	44.4	50.0	33.4
	労働	57.1	50.0	44.4	53.6	32.4
工業	57.1	41.7	44.4	30.4	32.8	
交流	14.3	16.7	22.2	44.9	31.8	
住宅公園	14.3	33.3	33.3	39.1	30.1	
商業	71.4	41.7	50.0	46.4	26.4	
産業人材	28.6	33.3	11.1	21.7	22.3	
土地利用	42.9	25.0	11.1	30.4	21.4	

【定住年数別】

- ・ 1年以上～5年未満は「景観」の割合が最も高く、その他の定住年数は「上下水道」の割合が最も高い。

## 2 SDGsへの取り組みについて

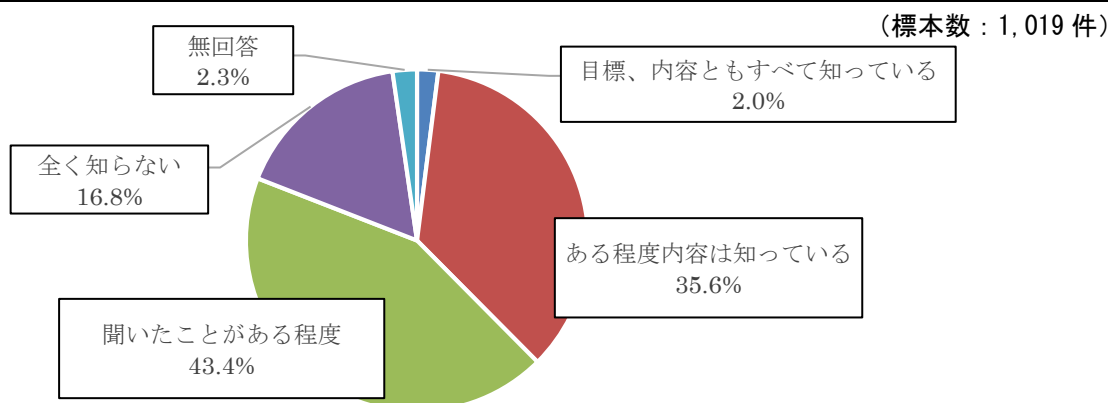
### 1 SDGsの認知度

- ・全体の8割以上(81.0%)でSDGsのことを聞いたことがあるものの、内容を知っている、また、内容をある程度知っている割合は約4割(37.6%)となっている。
- ・「目標、内容ともすべて知っている」と「ある程度内容は知っている」を合わせた割合が最も多い年代は10代・20代で、約6割(57.4%)を占めている。
- ・「全く知らない」と回答した割合が多い年代は、70代以上であった(30.0%)。

問4 SDGsとは国連で採択された世界共通の目標で、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会を実現するために17の目標が定めてあります。

あなたは、SDGsについてどの程度知っていますか。(1つに○印)

No.		回答数 (件)	回答率 (%)
1	17の目標をすべて知っており、内容も知っている。	20	2.0
2	17の目標のことや、内容をある程度は知っている。	363	35.6
3	SDGsという言葉聞いたことがある、若しくはロゴを見たことがある程度で、内容までは知らない。	442	43.4
4	まったく知らない。	171	16.8
	無回答	23	2.3
	計	1,019	



(参考) 岐阜県におけるSDGsの認知度 (SDGsに関するアンケート調査)

- ・調査期間：令和3年7月
- ・回答者：429人
- ・問：あなたは、SDGsについてどの程度知っていますか。(複数回答)

	割合 (%)
SDGsという言葉聞いたことがある	69.9
SDGsのロゴ・アイコンを見たことがある	54.3
17の目標があることを知っている	43.6
169のターゲットがあることを知っている	11.4
2030年を達成年限とした国際的な目標であることを知っている	30.1
SDGs未来都市という言葉聞いたことがある	14.2
全く知らない(はじめて聞いた)	19.6

属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		54	85	143	178	230	317
SDGsの認知度（%）	17の目標をすべて知っており、内容も知っている。	3.7	1.2	2.1	3.4	2.2	0.9
	17の目標のことや、内容をある程度は知っている。	53.7	43.5	40.6	41.0	42.6	21.1
	SDGsという言葉聞いたことがある、若しくはロゴを見たことがある程度で、内容までは知らない。	37.0	49.4	46.9	40.4	43.5	42.9
	まったく知らない。	5.6	5.9	10.5	14.0	10.4	30.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	1.1	1.3	5.0

【年齢別】

- ・10・20代と50代で、「ある程度内容は知っている」と回答した割合が、また30代、40代及び60代以上で、「聞いたことがある・見たことがある程度」と回答した割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域																				
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区	丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		642	35	63	80	117	97	40	63	35	38	6	68	62	23	18	22	38	20	8	101	48
SDGsの認知度（％）	17の目標をすべて知っており、内容も知っている。	2.0	0.0	4.8	2.5	1.7	2.1	0.0	3.2	2.9	2.6	0.0	0.0	1.6	4.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	1.0	2.0
	17の目標のことや、内容をある程度は知っている。	35.8	37.1	34.9	40.0	33.3	36.1	40.0	23.8	25.7	39.5	33.3	47.1	27.4	13.0	27.8	50.0	42.1	45.0	25.0	34.7	43.8
	SDGsという言葉聞いたことがある、若しくはロゴを見たことがある程度で、内容までは知らない。	41.9	40.0	41.3	37.5	45.3	43.3	35.0	52.4	40.0	36.8	50.0	38.2	53.2	56.5	55.6	36.4	34.2	45.0	62.5	48.5	35.4
	まったく知らない。	18.2	22.9	19.0	20.0	16.2	13.4	25.0	19.0	25.7	21.1	16.7	13.2	14.5	17.4	16.7	13.6	15.8	10.0	12.5	14.9	14.6
	無回答	2.0	0.0	0.0	0.0	3.4	5.2	0.0	1.6	5.7	0.0	0.0	1.5	3.2	8.7	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	1.0	4.2

【居住地域別】

- ・全20地域（地区）中14地区・地域で「聞いたことがある・見たことがある程度」が、6地区・地域で17の目標について「ある程度内容は知っている」の割合が最も高い。
- ・「目標、内容ともすべて知っている」と「ある程度内容は知っている」を合わせた割合が多い地域は、一之宮地域（50.0%）で、次いで久々野地域（47.4%）、花里地区（47.1%）であった。

## 2 SDGsを認知したきっかけ

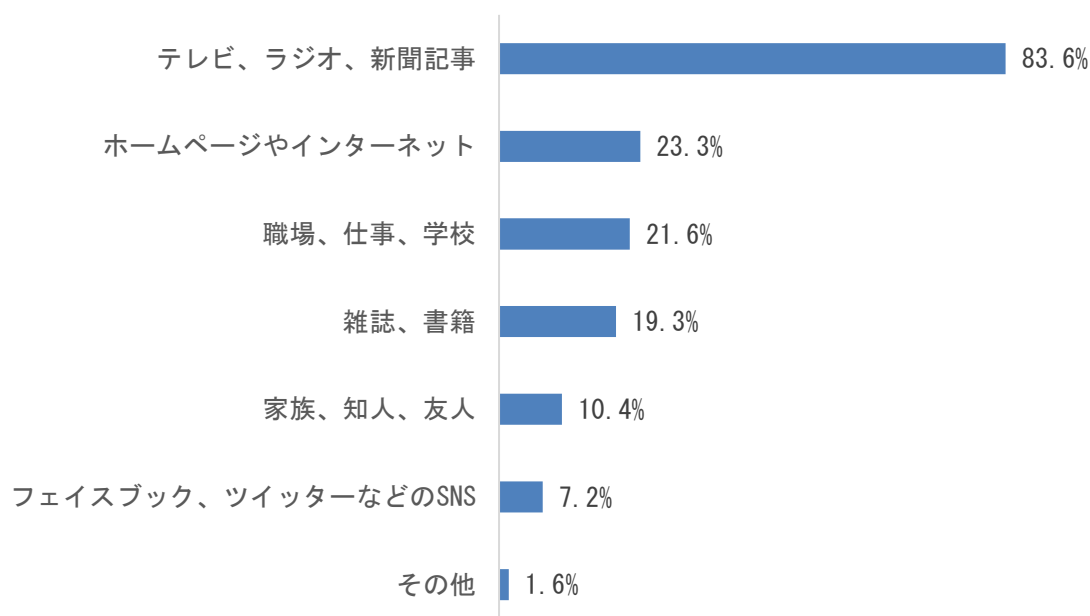
- ・「テレビ、ラジオ、新聞記事」の割合が最も高く、次いで「ホームページやインターネット」、「職場、仕事、学校」の順であった。

問5 (質問4で1～3に回答した方にお伺いします。)  
あなたは、SDGsを何で知りましたか。(あてはまるもの全て○印)

順位		回答数(件)	回答率(%)
1	テレビ、ラジオ、新聞記事	690	83.6
2	ホームページやインターネット	192	23.3
3	職場、仕事、学校	178	21.6
4	雑誌、書籍	159	19.3
5	家族、知人、友人	86	10.4
6	フェイスブック、ツイッターなどのSNS	59	7.2
7	その他	13	1.6
	計	1,377	

(標本数：825件)

- ・その他としては、「町内での取り組み」や「講習会・勉強会」などがあつた。



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	SDGsを認知したきっかけ(%)						
			テレビ、ラジオ、 新聞記事	ホームページや インターネット	フェイスブックや ツイッターなどの SNS	雑誌、書籍	職場、仕事、 学校	家族、知人、 友人	その他
年齢	10代・20代	51	68.6	35.3	11.8	13.7	33.3	11.8	0.0
	30代	80	78.8	28.8	10.0	12.5	30.0	8.8	0.0
	40代	128	78.1	33.6	17.2	18.0	30.5	21.1	0.8
	50代	151	81.5	27.2	6.6	19.2	31.8	7.3	0.7
	60代	203	86.2	22.7	4.4	27.1	20.2	8.4	2.5
	70代以上	206	91.3	9.7	1.9	16.5	4.4	8.7	2.9

【年齢別】

- ・全ての年代において、「テレビ、ラジオ、新聞記事」と回答した割合が最も高い。

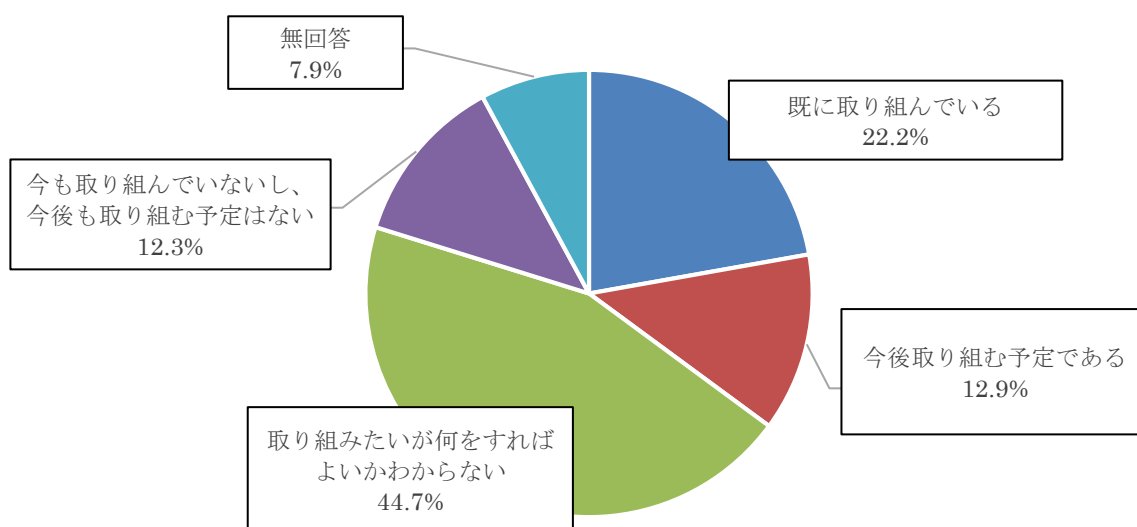
### 3 SDGsの取り組み状況

- ・「取り組みたいが何をすればよいかわからない」が最も高い割合となっている。
- ・「既に取り組んでいる」「今後取り組む予定である」「取り組みたいが何をすればよいかわからない」を合わせた割合が79.8%となっており、SDGsを意識した取り組みを考えている割合が約8割を占めている。

問6 あなたは、SDGsを意識して何か取り組んでいることはありますか。（1つに○印）

No.		回答数 (件)	回答率 (%)
1	既に取り組んでいる	226	22.2
2	今後取り組む予定である	131	12.9
3	取り組みたいが何をすればよいかわからない	456	44.7
4	今も取り組んでいないし、今後取り組む予定はない	125	12.3
	無回答	81	7.9
	計	1,019	

(標本数:1,019件)





属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	SDGsの取り組み状況 (%)					無回答
			既に 取り組んでいる	ある 今後 取り組む 予定で	ない す れば よ い か わ か ら な い	取 り 組 み た い が 何 を	取 り 組 む 予 定 は な い	
年 齢	10代・20代	54	27.8	13.0	48.1	9.3	1.9	
	30代	85	20.0	17.6	50.6	10.6	1.2	
	40代	143	28.0	19.6	41.3	9.1	2.1	
	50代	178	25.8	18.5	44.4	7.3	3.9	
	60代	230	32.2	10.0	45.2	7.4	5.2	
	70代以上	317	10.7	7.6	43.5	21.1	17.0	

【年齢別】

- ・全ての年代において、「取り組みたいが何をすればよいかわからない」と回答した割合が最も高い。
- ・「既に取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのが、60代（32.2%）で、次いで40代（28.0%）、10代・20代（27.8%）となっている。

属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	SDGsの取り組み状況 (%)					無回答
			既に 取り組んでいる	ある 今後 取り組む 予定で	ない す れば よ い か わ か ら な い	取 り 組 み た い が 何 を	取 り 組 む 予 定 は な い	
年 齢	農林畜産業	66	18.2	9.1	50.0	16.7	6.1	
	自営業	114	20.2	16.7	44.7	13.2	5.3	
	会社員・公務員・団体職員	301	28.2	19.3	43.9	5.6	3	
	パート・アルバイト・内職	185	23.8	10.8	49.2	9.7	6.5	
	家事従事者	70	21.4	15.7	40.0	11.4	11.4	
	学生	8	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0	
	無職	239	14.6	5.9	40.6	22.6	16.3	
	その他	17	41.2	0.0	52.9	5.9	0.0	

【職業別】

- ・全ての職業において、「取り組みたいが何をすればよいかわからない」と回答した割合が最も高い。
- ・学生において、「取り組む予定はない」と回答した方はいなかった。
- ・「既に取り組んでいる」「今後取り組む予定である」「取り組みたいが何をすればよいかわからない」を合わせた、SDGsを意識した取り組みを考えている割合が最も高い職業は、学生（100.0%）で、次いで、その他（94.1%）、会社員・公務員・団体職員（91.4%）であった。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域																				
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		642	35	63	80	117	97	40	63	35	38	6	68	62	23	18	22	38	20	8	101	48
SDGsの取り組み状況（％）	既に取り組んでいる	21.7	8.6	22.2	28.8	16.2	20.6	27.5	22.2	8.6	28.9	16.7	29.4	17.7	34.8	27.8	36.4	26.3	30.0	37.5	19.8	20.8
	今後取り組む予定である	13.6	14.3	17.5	12.5	14.5	14.4	20.0	7.9	11.4	7.9	33.3	11.8	11.3	4.3	5.6	9.1	7.9	5.0	12.5	17.8	8.3
	取り組みたいが何をすればよいかわからない	45.6	57.1	42.9	40.0	47.9	47.4	37.5	52.4	57.1	39.5	33.3	39.7	48.4	43.5	50.0	40.9	44.7	45.0	37.5	39.6	37.5
	取り組む予定はない	11.7	14.3	11.1	11.3	13.7	9.3	10.0	6.3	11.4	15.8	16.7	14.7	12.9	4.3	16.7	9.1	13.2	15.0	0.0	14.9	16.7

【居住地域別】

- ・全て地域（地区）で「取り組みたいが何をすればよいかわからない」の割合が最も高い（高根地域は「既に取り組んでいる」と同率）。
- ・「既に取り組んでいる」「今後取り組む予定である」「取り組みたいが何をすればよいかわからない」を合わせた、SDGsを意識した取り組みを考えている割合が最も高い地域が、高根地域（87.5%）で、次いで、一之宮地域（86.4%）、江名子地区（85.0%）であった。

#### 4 SDGs を取り組むにあたって知りたいこと

- ・「SDGsを達成することで暮らしがどのように変わるのか知りたい。」の割合が最も高く、次いで「どのような行動がSDGsの目標につながるのか知りたい。」、「市や市内の企業、団体などの取り組み内容について知りたい。」の順であった。

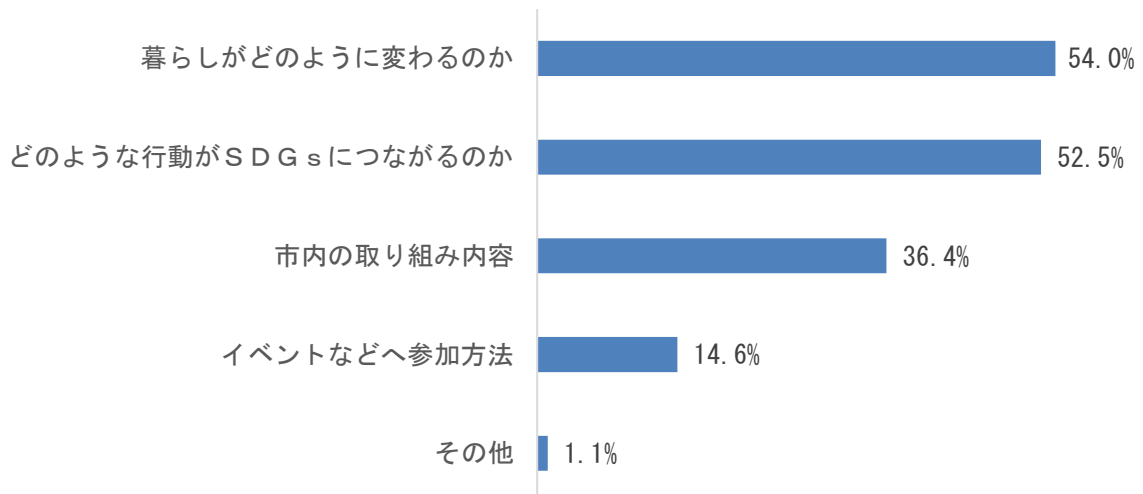
問7 (質問6で1～3に回答した方にお伺いします。)

あなたは、SDGsについて取り組むにあたって知りたいことはどのようなことですか。  
(あてはまるもの全て○印)

順位		回答数(件)	回答率(%)
1	SDGsを達成することで暮らしがどのように変わるのか知りたい。	439	54.5
2	どのような行動がSDGsの目標につながるのか知りたい。	427	52.5
3	市や市内の企業、団体などの取り組み内容について知りたい。	296	36.4
4	SDGsに関するイベントや取り組みに参加する方法について知りたい。	119	14.9
5	その他	9	1.1
	計	1,290	

(標本数：813件)

- ・その他としては、「17の各目標を分かりやすく知りたい」や「高山市の取り組みの成果」などがあつた。



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	SDGsを取り組むにあたって知りたいこと (%)				
			どのような行動がSDGsにつながるのか	暮らしがどのように変わるのか	市内の取り組み内容	イベントなどへ参加方法	その他
年齢	10代・20代	48	43.8	56.3	31.3	12.5	4.2
	30代	75	45.3	45.3	38.7	13.3	1.3
	40代	127	48.8	67.7	29.9	14.2	0.8
	50代	158	49.4	58.2	37.3	12.0	0.6
	60代	201	57.7	54.7	43.3	18.4	1.0
	70代以上	196	56.6	43.4	32.7	14.3	1.0

【年齢別】

- ・10代・20代から50代においては、「暮らしがどのように変わるのか」と回答した割合が最も高く、30代、60代以上においては、「どのような行動がSDGsにつながるのか」と回答した割合が高い（30代は同率）。

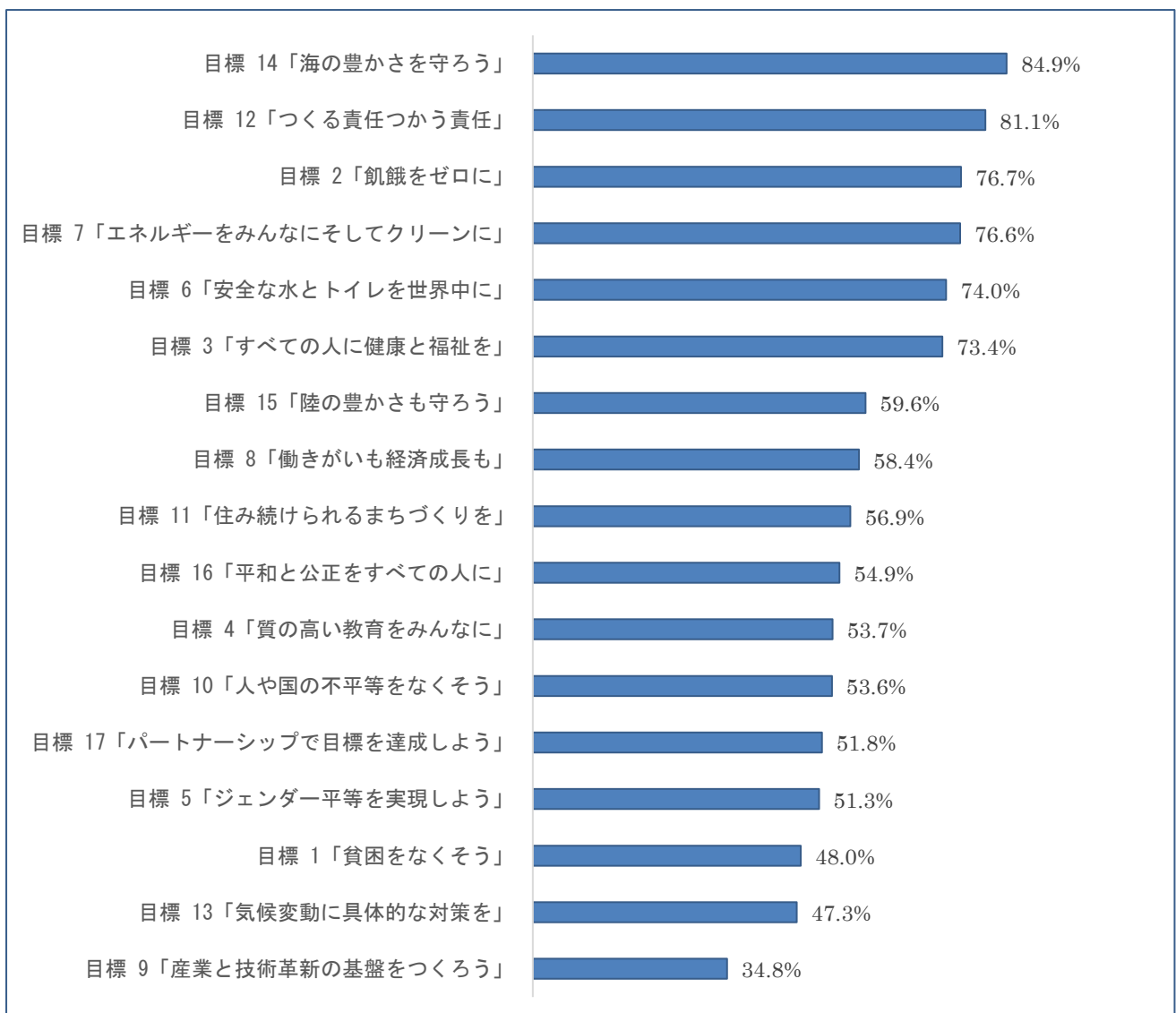
## 5 SDGsの各目標における取り組み意欲度

- ・ 取り組み意欲度の高い目標は、高い順に目標番号 14「海の豊かさを守ろう」（84.9%）、12「つくる責任つかう責任」（81.1%）、2「飢餓をゼロに」（76.7%）となっており、目標番号 14に関連したプラスチック容器を使用しない取り組みや、目標番号 12に関連したごみの減量化に関する取り組みなど、普段の身近な生活に関連した取りくみやすい目標が上位を占めている。
- ・ 一方、取り組み意欲度の低い目標は、低い順に目標番号 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」（34.8%）、13「気候変動に具体的な対策を」（47.3%）、1「貧困をなくそう」（48.0%）となっている。

問8 あなたは、SDGsで掲げる17の各目標について、今後取り組んでみたいことはありますか。それぞれの項目ごとにあてはまる番号をそれぞれ1つ選択してください。  
(項目ごとに1つ〇印)

(取り組み意欲度の算出方法)

$$\text{取り組み意欲度} = \frac{\text{「既に取り組んでいる」、「今後取り組んでみたい」の合計}}{\text{「既に取り組んでいる」、「今後取り組んでみたい」、  
「興味はあるが、取り組む予定はない」、「興味がないため、取り組む予定はない」の合計}}$$



目標 番号	目標内容	既に取り組ん でいる	今後取り組ん でみたい	興味はある が、 <u>取り組む</u> <u>予定はない</u>	興味がないた め、 <u>取り組む</u> <u>予定はない</u>	無回答	取り組み 意欲度	順位
1	「貧困をなくそう」	62	405	415	91	46	48.0%	15
2	「飢餓をゼロに」	345	403	186	41	44	76.7%	3
3	「すべての人に健康と福祉を」	236	477	221	38	47	73.4%	6
4	「質の高い教育をみんなに」	94	428	363	87	47	53.7%	11
5	「ジェンダー平等を実現しよう」	95	402	354	118	50	51.3%	14
6	「安全な水とトイレを世界中に」	302	419	206	47	45	74.0%	5
7	「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」	245	503	193	36	42	76.6%	4
8	「働きがいも経済成長も」	72	494	342	61	50	58.4%	8
9	「産業と技術革新の基盤をつくろう」	17	323	480	157	42	34.8%	17
10	「人や国の不平等をなくそう」	81	443	373	81	41	53.6%	12
11	「住み続けられるまちづくりを」	152	404	350	71	42	56.9%	9
12	「つくる責任つかう責任」	377	419	153	33	37	81.1%	2
13	「気候変動に具体的な対策を」	118	347	411	107	36	47.3%	16
14	「海の豊かさを守ろう」	518	318	120	29	34	84.9%	1
15	「陸の豊かさも守ろう」	114	471	332	64	38	59.6%	7
16	「平和と公正をすべての人に」	90	450	372	71	36	54.9%	10
17	「パートナーシップで目標を達成しよう」	49	457	372	99	42	51.8%	13

属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		54	85	143	178	230	317
SDGsの各目標における取り組み意欲度（%）	目標1「貧困をなくそう」	59.3	65.9	59.3	52.8	47.8	32.7
	目標2「飢餓をゼロに」	77.8	78.8	84.3	80.1	80.0	68.4
	目標3「すべての人に健康と福祉を」	81.5	76.5	83.6	73.9	75.0	64.7
	目標4「質の高い教育をみんなに」	59.3	58.8	67.1	58.0	55.8	41.2
	目標5「ジェンダー平等を実現しよう」	72.2	69.4	64.3	56.3	47.5	36.2
	目標6「安全な水とトイレを世界中に」	79.6	71.8	75.7	77.8	75.0	70.5
	目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」	77.8	78.8	84.3	76.0	77.3	72.6
	目標8「働きがいも経済成長も」	68.5	71.8	78.0	67.0	53.6	41.6
	目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」	38.9	48.2	50.4	40.7	32.3	21.3
	目標10「人や国の不平等をなくそう」	66.7	61.2	66.7	58.2	54.0	39.2
	目標11「住み続けられるまちづくりを」	59.3	52.9	62.9	53.7	61.1	53.0
	目標12「つくる責任つかう責任」	81.5	80.0	85.7	83.1	77.4	80.4
	目標13「気候変動に具体的な対策を」	42.6	48.2	57.9	43.5	49.1	44.3
	目標14「海の豊かさを守ろう」	83.3	77.6	88.6	87.6	86.7	82.9
	目標15「陸の豊かさも守ろう」	63.0	67.1	70.7	59.3	60.2	51.2
	目標16「平和と公正をすべての人に」	61.1	49.4	66.7	50.8	60.0	48.5
	目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」	64.8	57.6	61.0	54.2	52.0	42.4

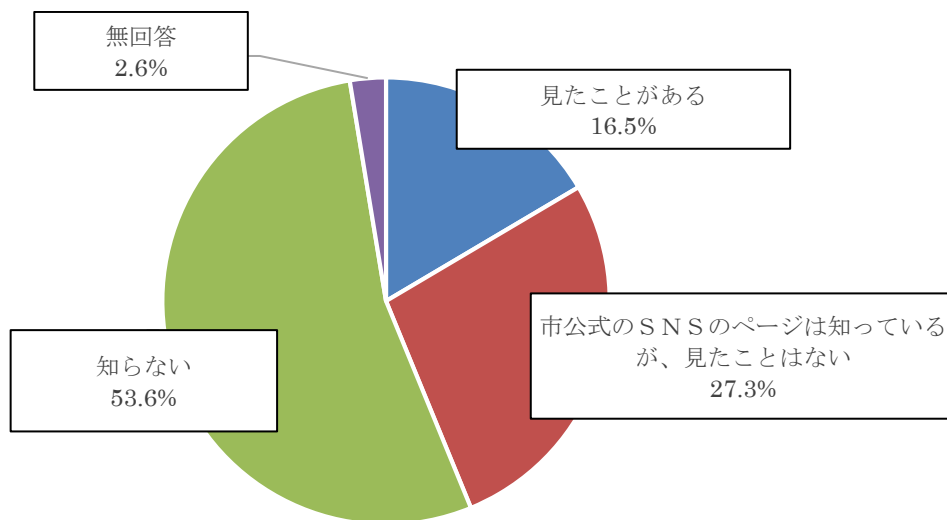
## 6 市公式SNSの認知度

- ・「知らない」が最も高い割合となっている。
- ・60代から年代が下がるごとに「知らない」と回答した割合が増加している。

問9 高山市では市のSDGsの取り組みや市内の企業、団体の活動内容などについて、フェイスブック、ツイッターなどのSNSを利用して情報を発信しています。  
あなたは、市公式のSNSのページを見たことがありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
見たことがある	168	16.5
市公式のSNSのページは知っているが、見たことはない	278	27.3
知らない	546	53.6
無回答	27	2.6
計	1,019	

(標本数:1,019件)



### 属性別集計（年齢別）

	標本数 (件)	市公式SNSの認知度 (%)				
		見たことがある	知っているが、 見たことはない	知らない	無回答	
年齢	10代・20代	54	14.8	14.8	70.4	0.0
	30代	85	21.2	22.4	55.3	1.2
	40代	143	22.4	23.1	54.5	0.0
	50代	178	23.6	29.2	46.6	0.6
	60代	230	18.7	36.1	43.9	1.3
	70代以上	317	7.6	25.2	60.6	6.6



## 7 「私なりのSDGs宣言」の認知度

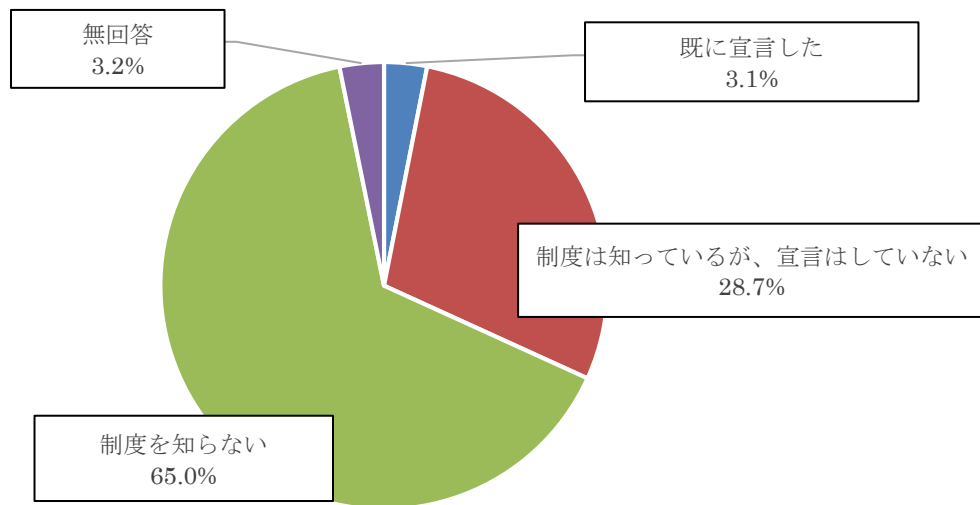
- ・「制度を知らない」が最も高い割合となっている。
- ・「制度を知っており、既に宣言した」「制度は知っているが、宣言はしていない」を合わせた割合が31.8%となっており、「私なりのSDGs宣言」を認知している割合は約3割にとどまっている。

問 10 高山市では市民一人ひとりがSDGsに対する理解を深めること、またSDGsを身近な行動から始められることを認識し、取り組みが進むよう、SDGsを意識した活動などを宣言する制度「私なりのSDGs宣言」を昨年度から始めました。

あなたは、「私なりのSDGs宣言」を知っていますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
制度を知っており、既に宣言した	32	3.1
制度は知っているが、宣言はしていない	292	28.7
制度を知らない	662	65.0
無回答	33	3.2
計	1,019	

(標本数:1,019件)



### 属性別集計（年齢別）

	標本数 (件)	SDGs宣言の認知度 (%)				
		既に宣言した	知っているが宣言はしていない	制度は知っているが宣言はしていない	知らない	無回答
年齢	10代・20代	54	3.7	14.8	81.5	0.0
	30代	85	3.5	29.4	65.9	1.2
	40代	143	7.0	33.6	58.7	0.7
	50代	178	5.1	30.9	64.0	0.0
	60代	230	2.6	32.2	62.6	2.6
	70代以上	317	0.6	24.9	66.9	7.6

## 8 SDGs全般への意見

問 11 SDGsの取り組みに関して、ご意見などがありましたらお書きください。

認知度
・SDGsという言葉初めて聞いた。もう少し時間をかけ内容を市民に浸透させるべき。内容がわからないので解答が曖昧になってしまう。
・高齢者なので知識不足。SDGsの達成に貢献できるように協力したい。
・まだまだ浸透していないのが現実だと思う。TVや広報等で取り組みについての報道もあるが、市民一人ひとりの取り組みについては、これからだと感じている。しかし、できることからコツコツとの思いで自覚しつつやっている、やっていくつもりでいる。折に振れ、市民向けに丁寧な取り組みについて、知らせる必要がある。毎月の広報での取り上げも大切であり、まだまだこれからの活動だと思う。
・孫に「SDGsって知ってる？」と聞いたら、上の子は「昨年学校で習った」下の子は「知らん」との返答。「市民憲章は」二人とも「知らん」と返答。私が子どもの頃は、子ども会で「市民憲章」を唱えた。早く遊びたいとの思いで、好きではなかったが中学生の真似をしながら暗記したものだ。SDGsの17の項目の中に「市民憲章」が入っている(③ラジオ体操、④いろいろ教えてもらった、⑫ごみ拾い・そうじ、⑮キャンプ)と今は思う。
・SDGsという言葉は全く聞いたことがない。おそらく多くの人が聞いたことがない言葉だと思う。
・SDGsと言われても日本人なので日本語で示してもらわないとまったくわからない。
・CMなどで耳にしたことはあったが、調べる機会がなかったが、今後は少しずつ知って行動に移していけたらと思う。
・SDGsの理解不足のためアンケートに答えられない。
・パソコンもSNSもやらないのでわからない。
・SDGsについて聞いたのは今回が初めて。孫と話しながら書いた。私にはどれに○をするか大変だった。

理解・共感
・すべての目標を達成できれば一番いいことであるが、十人十色なので、自分自身で、これならできるという意識を持つことが重要だと思う。
・自分の生活について考えることは、大切だと思う。仕事で忙しく、考える機会がないが、時々、考えたりできると良い。
・食材ロスは変わっていない。
・良いことだろうと思うが、自分の活動が、どうSDGsに貢献したか実感しにくい(フードバンクの使い道など)。
・昔から、普段からやってきていることを、横文字にただけであり、訳がわからない。
・わからない。
・他にやることがあるはずで、無駄である。
・SDGsの目標は大きな課題だと思うが、小さなことから始めるしかないし、積み重ねであると思う。ただスローガンとしてのSDGsという言葉が長すぎて高齢者にはわかりにくいと感じる。しかし、高齢者は物に関しては「長く大事に使う」ということを昔から実行していると思う。これに限らず表向きのイメージはとても良いが実際はどうなのかと思うことがたくさんあり、SDGsも、手間のかかることが多いことから本当にみんなやっているのかと思う。
・SDGsを推進することが、正しいことだとは思わない。
・趣旨は理解できるが成功はしないと思う(日本は平和すぎて実感が無い)。本に書いてあるような質問をされても困るし、もっと具体的な取り組みを行うべきである。
・SDGsを私なりに行動すると、他人に心を配り、質素節約し、小さなことにも幸せを感じ感謝する、そんな昭和時代の暮らしをすることかなと思う。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識はしていなくても SDGs にあてはまることは、既にやっている場合があり、SDGs が流行のような風潮には違和感がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・車を使わないと行くことができない所が多く、⑬に対する取り組みが何をしたら良いかわからない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・17 の目標に改めて目を通して日常生活に関わることばかりだと感じた。当たり前の行動、ちょっとした気遣いが、SDGs の取り組みに繋がるのだと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういった取り組みは大切なことだが、継続的に意識し、実行することは難しいと思う。先進国以外の国ができるのかが疑問である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs のアンケートに答えることが、むなししいと感じる。ウクライナやその他の地域でも人が殺されたり、自然が破壊されたり、建物が壊されたりということが起きている。17 の目標の前に一番始めに「戦争をしない」ことが必要である。「誰一人取り残さない」がただのお題にしか思えない。本当に世界共通の 17 の目標か信じられないが、できることからすすめるしかないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs の意義はわかるが、私は 80 才近くになり、協力したいと思ってもそれを持続するパワーがない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「誰一人取り残さない」大切な言葉だが、世間はそんな風に考えてくれないと思う。私達夫婦は 80 才をすぎたが、夫は足が悪く、でも車の運転はできるため、買物に行ってくれ有難いと思うが、11 月に免許の更新ができることを願っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑩の身の周りの差別（部落問題）などは知らなければ差別もしないのに、知ってしまうことで差別がはじまることもあると思う。都会と田舎では生活様式も違うので、あまり大きな問題にするのではなく、国とは違う取り組みを考えるべきだと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近よく言われており関心を持っている。次世代の子どもや孫に、生きやすい世界を残していくために必要だと思う。自分たちでできることをし、それを広めていけることが大切だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「誰一人取り残さない」等の標題は理想的であるが、現実離れしていると思う。こうした標題を目にすると「そんなことできる訳がない」など、シラケた気分になることが多いと思う。「弱者、立場の弱い人に目を向ける」など、やり方によっては可能に思われる標題が市行政には向いていると思う。目標とそれに向けた各分野別の目的は現実離れしたものであってはいけないと思う。PDCA サイクルの実現を大切にしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の教育、新聞の記事で知った。10 年以上もテレビを見ないため、主にインターネットを活用して、情報を得ている。身近にできることから始めることが大事だが、日本の場合すぐに税金を使って物事を始めようとする。権力のある者、マスコミ、投資家がお金を稼ぐための道具として利用するのが目に見えて分かる。主張は正しいと思いますが、すべて、ボランティアや寄附でやるべきものと思う。市の情報発信も良いと思うが、経費は必要最低限でやるべきである。そもそも人間の身勝手、わがままを許して、この結果になったのだから、お金は切り離して取り組むべきであり、どうしても必要な時に税金の投入を検討してもらいたい。変わらなくてはいけないのは人間の醜い心だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や園から SDGs のパンフレットはもらってきている。シールなども付き、良いとは思いますが、親も子ももっと積極的に理解し、取り組めるようなイベントなどがあってほしいと思う。とても大切なことであり、市での取り組みはうれしいことだと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで当たり前のように感じてきたのに SDGs の取り組みと書かれると難しく感じた。若い人には、必要であり、明るい未来に期待している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語や略語、ローマ字などが増えているが、日本語で説明してくれた方が内容がわかるような気がする。最近は何でも横文字になっていて、なかなか理解できない。このように感じている人が多いのではないかと思う。もっとわかりやすく説明してほしい。</li> </ul>

<p><b>実践意欲</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高根地域では、自家用車を使用しないと生活ができない。また、余った食材を提供するには、距離的に無理がある。まとめ買いしないと、食材の購入ができないので、廃棄することをゼロにできない。</li> </ul>
--

・食事など、当たり前でできていることをありがたく思うことから、今後も絶対に捨てるようなことがないようにしていきたい。
・このアンケートを機会に SDGs に関心を持ち、私にできることを積極的に増やしていきたい。
・日々の暮らしに精一杯で SDGs に取り組む余裕がない。
・普段の生活で節約やゴミの分別などを、意識することから始めていきたい。
・地域を住みやすくするため課題の解決に取り組んでいる。自然・伝統文化や人など、住み続けられるまちづくりを目指したい。子どもたちを元気にしたい（おはようございますを言える子どもに）。小学校スクールサポーターの活動をしているが、私は、いつていらっしやいと言うものの、子ども達の元気がないように思う。
・いろいろ取り組んでみたが、身体が不自由だと全てにおいて否定的になる。
・自分だけがではなく他の人々もやってもらいたい。近所の高齢者は SDGs も知らない人ばかりで、川にごみを流したり、ごみの分別もしない、犬の糞も片づけないなど、個々のモラル問題である。そうならないよう自分の夫や娘息子達にも教えている。
・全ての項目がとても大切で納得のいくものばかりだが、できること・できないことがあり、自分にできる小さなことから一歩ずつ実践していきたい。適度な運動、バランスの良い食事は、真っ先に取り組める。また、ごみ減量のためフードロスに気を付け余分なものは買わないようにしたい。
・年金暮らしであり、高い食材、高い物は、なるべく買わず捨てないようにしている。このことが SDGs に繋がるのではないかと思う。贅沢は敵である。
・SDGs のイベント等があれば参加したい。QR コードなどは使いこなせないため、何か別の方法でお願いしたい。
・高齢ということもあり家庭でできる野菜を作って食べる。食事に気を付ける。節電、ごみを減らすなど小さなことに心がけている。資源回収、ペットボトルの回収にも取り組んでうが、社会的な働きかけは難しい。
・SDGs の 17 の目標は、皆どれもすごく大事なことだと実感している。主婦の私でもできることは、食品ロス削減やゴミをなるべく少なくする、不必要な電気は消すなどである。地球温暖化による異常気象は、私達人間が自然破壊などしてきたことにも一因があるのではと思う。動物が好きなので、動植物の保護や森林保全などを市でも取り組んでほしい。クイズ in ハイキングウィークの問題の答えに改めてびっくりした。城山の草花に癒された。
・特別な取り組みはしていないが、何かのきっかけがあった時にするようにしている。
・2人暮らしで無駄なく食物でも何でも循環するように日々考え中だが、気候等なかなか難しい。少しずつ取り組んでいきたい。
・プラスチックゴミを減らす等少しずつではあるが継続して実行している。何事も続けていくことが大切であると感じている。項目は多いが、全ての項目が偏らず同じように取り組まれていくことを望む。
・小さなことから始めようと思っている。当たり前の生活があることが、当たり前では無いということを実感しつつ、日々考えながら過ごしている。
・自然エネルギー小水力発電が近くにできた。ロシアでの戦争もありエネルギー、食糧に関して考えるようになった。畑で少しだが野菜作りをはじめた。
・難しく、気軽にできそうにない。
・文字で見る限り素晴らしい取り組みであることは良く理解できるが、高齢のためどのように参加し、行動するべきか「私なりの SDGs 宣言」すらとても無理というのが現実である。アンケートとしては答えたが、少々空論に過ぎると感じる。
・興味があって良いことは分かるが、高齢者になると体力的に意欲がわいてこない。
・これから勉強してみたい。
・これから勉強する。
・下水道なども微生物は油に弱いとのことで油の汁物などは、新聞紙などで包んで捨て、下水道に流さないようにする。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢で障がいを持つ私にできることは限られているが、私なりの努力はしているつもりである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で取り組みを意識し、行動して行きたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs に掲げてある 17 の各目標に取り組んでみたい気持ちはあるが、年齢的に無理を感じる。でもより良い社会の実現のため、自分なりに何か貢献したいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニセフ募金など年間を通して協力させてもらっているが、身近なところで貧困家庭など具体的な事実をもって十分捉えられていない。私自身の努力が足りないようである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることは既に取り組んでいるが、無職であり、人とも出会いも交流もないので、何のことも、どうすれば良いのかわからないことがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs に対して頑張れることは、今の体では無理だと思うが、私にできることはしていこうと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近になってようやく SDGs について知識の上での理解はできたが、まだ意識して行動することができないのが現状である。しかし、以前より「もったいない」「感謝の心で使おう」「自然を大切に」などの気持ちで日頃の生活をしてきたことは確かにある。例えば、住民が多く集まる場所へ出向き「皆さんのその行動が SDGs の目標そのものなのです。」と住民の行動を価値づけるような取り組みをすれば、もっとその意識が広がるのではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs と言われなくても、今の自分の生活を反省し、行動するとあらゆる面でそれに繋がるなと思った。色々なことで余分な使い方をしているし、行動することで生活がかえってシンプルになって気持ちが良いのではと感じる。賞味期限の近い物から買うというのは、すぐ実行しようと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs は、感心はある。資源の無駄をなくしたり、食品は食べ残さないなどできることから始めている。⑤⑩⑬は難しく、かえって傷つけているのかなと思うこともある。みんなが笑顔でいられる社会になってほしい。</li> </ul>

SDGs の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、広報の表紙を見た。今後も街頭掲示などを利用して、高山市の取り組みをアピールした方がよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言も大切だが、市が主導してやるのではなく、具体的な目標とその結果を定期的に発表していく必要もあると思う。例えば、「ゴミの量を今年前年から〇%減らす」というのを市全体の SDGs に関する年間の目標にして、1 年経ったところで何%変化があったかを具体的な数字で報告するなど検討してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・強制ではなく、個人、企業でコツコツやっていくことが最良だと考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさん自分のできる範囲で取り組めるし、取り組んでいると思うので、宣言をしていない人が興味関心がないと思われるのはどうかと思う。当たり前から取り組めばいいので、何でもかんでも SDGs と持ち上げてしまうと真価が無くなる気がする。ブームで終わってしまい、疲れてしまう。自然な形で押しつけず、持続可能なことを細く長く続けるスタンスで行くのが理想だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑬に関して自転車専用道路などのインフラ整備を整えることで健康維持や観光にも活かせると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でもできる簡単なことをやってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭に SDGs のことを分かりやすく普及すれば良いと思う</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で育ち、大学は他に行ったが、市内で働いている。大学の講義で高山には地熱が豊富にあり、計算上は、パイプラインを繋げば市内の家庭にも床暖房がつけられるとあったが、利権の関係で実現していないとのことだった。SDGs の取り組みとして、対応を検討し、モデルを構築すれば海外への PR にも使えるのではないかとと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな水、山の資源をもっと活用できるようなエネルギー対策をしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ取り組まなければならないかを感じるだけでなく、市民がしっかり議論し、共用できる仕組みや機会をもう少し増やしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活している中で自然に SDGs を実感できる仕組み（SDGs に貢献するとポイントがもらえるなど）があると良いと思う。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・作りすぎた農作物（廃棄処分される物、家庭菜園で作りすぎた物等）をもっと利用できるようにしてほしい。市民の生活から出た生ごみをリサイクルや肥料にして出すことができるようにしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内にフードバンクの取り組みがあることを知らなかった。色々な方法で周知があったかもしれないが、皆が知れば利用する人が増えると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・植林活動もボランティアに頼るのではなく市職員として雇用するなど「自然を守る職員」を大量に確保する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みも志も立派だと思う。しかし、市政の方針すらもまるで遠い場所のこのような感じがする。さらに町内単位の活動程度まで落とし込まないと、地域住民に周知されることは難しいと思う。SDGs よりも目の前のコロナ対策や高齢化対策を行ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不用品（衣料・家電）などの交換会や、大型ショッピングセンターなどで行っている一定以上の会計で、商品券がもらえる取り組みなどを行えば、ゴミも減っていくと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支所の入口に「SDGs 宣言」と記されているが、それに関する説明を聞いたことが無い。実感を持って取り組むために説明会の開催や具体的に取り組むべき事例を紹介しながら対話する機会を提供してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の先に国の受給率が高まるようになれば良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の方ではなかなか全部に取り組むことは難しいと思うので是非、市で取り組み市民が気軽に参加できるような取り組みの内容にしてほしい。SNS だけでなくどのような年代に対しても周知できるような方法で、周知してもらいたい。</li> </ul>

SDGs 全般
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時的流行ではなく、長期的に取り組む必要がある</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人としての「モラル」を考えどう実行するかということであり、少しずつでもできることは、やろうということだと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラごみを減らしたり、必要以上の食材を購入せずごみを減らすなど、我が家ではできることから取り組んでいる。しかし、近隣の市外から高山市へわざわざごみを持ってくるとい話を何度か耳にする。市では、この現状を知っているのか。市民であることの証明を提示するとか、近隣の自治体と同等の処分料金にするなど対策が必要かと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢で生活していくのがやっとなであり、家族がこう考えるのではないかとの思いで答えた。住みやすいまちづくりのため、みんなで協力していきたい。戦争などない世の中になってほしい。世界中の方々が、幸せであってほしいと願う。「神様を信じる」そんな教育がなされると自分を大切に感謝できる人間になるのではと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国は資源のない国で、現在山は荒れ、色々な動物が人間界に近づいているため、もっと土地を大切にすることが必要かと思う。エネルギーの活用なども必要であるが、自転車、歩行者が安心して通れる道路の整備など子どもや高齢者を大切にしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お菓子などで過包装なものがあり、本体より包装品の方が多いのではないかと気になっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の地球温暖化や気候変動などの環境問題について憂いており個人レベルで歩いて通勤したり車の利用を控えたりなどの対策は試みている。しかし、道行く車を見ていると世の中は忙しく動いており、何か大きな変革が起きない限りこの流れは変わらないだろうと思う。自動車業界に期待したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の一人として幸せに過ごしていることに感謝している。2030 年の将来はどうなっているか不安だが、SDGs を意識して 17 の目標にそれぞれ関心を持って歩むことを願っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かつてオゾン層の破壊が大きな話題になったが、今はほとんど触れられることがない（当時、20 年～30 年後オゾン層がなくなると言われ、それが今のはず。）。不確かな情報だが、この当時はフロンガスの特許が切れる時期と一致しており、代替えフロンも特定の企業に莫大な利益が出たという。SDGs も同様に 20～30 年後ほとんど話題にならなくなったら意味がない。SDGs 推進の背景にあるものをしっかり把握し、それを市民に伝え、市民が踊らされることのないよう注意してほしい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨地域にあるダムでの水力発電の稼働率を把握しているのか。再生エネルギーの最大の「キー」は、水力発電ではないか。巨大なダムを造るのは全くナンセンスであり、小水力発電の推進を市が率先して実施（助成）すべきだと思う。同時に今あるダムの稼働率を上げる要請を進めるべきである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、SDGs が新しい取り組みのように感じている人もいると思うが、「物を大切に」「もったいないことをしない」等は、昭和生まれの私達が子どもの頃から教えられてきたことである。しかし、「消費は美德だ」と言われた時期もあった。現代はエネルギーが無限ではなく有限であり、地球温暖化に直面し、様々な自然災害も発生している。それゆえ、声を大きくして「SDGs」を意識した毎日の生活を送っていききたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs を意識して実践している家庭はどれ位あるのか。知名度の高い人間として魅力のある方を広告塔にするなど積極的に働きかけてもらいたい。より多くの人々が、この取り組みに興味や、関心を持つように、朝起きたら先ず顔を洗うように、誰もがごく自然に、この SDGs の取り組みができていような明日を期待したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに地域でも困っていることや悩んでいること、どうしたら在宅で安心して過ごせるか、他団体職員に相談しながら対応してる。独居で生活する人が増えている感じがする。入居するのにお金に余裕がない人のことも考えた上での共同で住める所があると良いと思う。住み続けられるまちづくりについて思うことである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に SDGs につながる多くの取り組みを市民の多くの方が行っていると感じているので、そのことをもっと PR して、自信を持って前向きに暮らしていけると良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山林を切り開いて太陽光パネル設置するのが SDGs なのか。廃棄パネルの処分が新たな環境問題であり、土砂災害を誘発するものである。環境問題は高山市だけのものではないが、流行り言葉に翻弄されず、本質に目を向けて、方向性を見定め道を誤らないでほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が安心して収入に関わらず、誰でも平等に安心して施設が利用でき、在宅で介護する側、介護される側も安心して暮らせるようにしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮沢賢治の「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」がもの語るように、自分の幸せを考えるならば SDGs を実践するのは必然である。大きなことでなくても一人ひとりが自分にできることに取り組むことが、いずれ大きな力になると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが無理なく、続けられることを意識して、今できている部分を認識することで、それが生きがいとなって、みんなでこの高山での生活を楽しんでいけると良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ができることはささやかであり、市内の企業などがビジネスチャンスとして取り組むことで浸透するのではないか。行政が率先して行うときれいごのような気がして、実感しにくい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所自体が今年に入ってから、やっとならプラスチック窓の封筒をやめた。こんなことはゴミ分別が全国でも一番細かい市がやることだろうか。SDGs という言葉におどらされていて情けなく思う。先読みのできない者がやることであり、国と同じことをやっても高山市に未来はない。</li> </ul>

<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブック・ツイッター等はどちらかと言えば主に若者が使うツールかと思う。中には高齢者でもやっている方もいるとは思いますが、高齢になるとそういったツールを使えない方もたくさんいると思うので、その辺をどのようにしていくかが問題かと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs などと言う前に、旧市内と、支所地域の格差をなんとかしろ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとしっかり現場を見て行動してほしいと市長に言いたい。</li> </ul>

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・電力のひっ迫が叫ばれていますが、市の状況など地域的な状態を知らされていない。節電は消費者の努力だが、電力を作る側である電力会社の説明も必要だと思う。電力の値上げが続いているが、電力会社ごとに値上げ率が違うため、もっと詳しくなぜそうなるのか仕組みを知らせてほしい。電力は値上げ率が高いため、それがなぜ高いのかを知りたい。市内の電力について水力・火力・原子力などそれぞれの内訳を知りたい。地産地消の電力をもっと作ってほしい。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・テレビのニュースキャスターや他メディアの服装について責任感が感じられない。節電を呼び掛けながらスーツ、ネクタイ姿の映像に怒りを感じる。半袖、ノーネクタイをメディアは実践すべきである</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・利権だらけでうらやましい。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・パソコンを持っておらず、スマホも難しい。目も疲れるため、パンフレットやチラシも見たくない。</li></ul>  |



### 3 高山市のまちづくりに関するご意見など

問 12 その他、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

労働・産業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと収入の良い就労の場を誘致または作ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の促進、労働単価を向上してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後、労働人口が流出する対策として、高速道路近辺に大企業の誘致を考えてほしい。中津川市の高速道路近辺において企業を誘致し、運動場や公園を整備している。中津川市を参考にして、観光で収入がある間に、観光ともう一つ柱となるものができるとうい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨地域には、大学卒業後帰省してまで働くような企業が少なすぎる。賃金格差も公務員・医師等以外は大きすぎる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元に戻り就職した若者などをもう少し良い待遇で迎えられとうい。市外から移住してくれる方を大切にすることも良いが、地元の若者をもっと大切にしていくことも大切である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都会にある会社を誘致し、雇用を確保すれば若者が高山に戻ってくるのではないかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に落ちる「お金」に頼るばかりではなく、市内で働く人の収入を増やす方法を考えるほか、正規職員を前提とする雇用契約の締結や最低賃金を上げることも必要かと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価の向上の割には給料が安い。引き止められるものがなく、仕事がなくなれば、高山に住み続ける理由がないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市政は、観光産業だけがメインなのかと思えるくらい目立っているが、住んでいる者の就職先は観光以外の業種の方が多いと思う。もっと観光以外に目を向けてほしい。若者が大学を卒業しても戻って来るような就職先の確保や、また、就職先があったとしても都会に比べて安い給料の就職先では帰って来ない。事業主の発想の転換が必要であり、安く雇うことばかり考えるのではなく、若者が働きたいと思えるような会社作りを望む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は観光に力を入れ、そこに関わる人達には大変良いことだが、長い間収入が増えない若者の希望、未来が不安である。観光はもう十分なので、古川や神岡、下呂のように企業誘致や土地整備・開発を行い、安定した収入が得られる職場を確保すべきではないかと思う。観光は今後様々なことに左右され、安定した生活は望めない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務先の工場が閉鎖となり、市内で転職できないか職探しをしたが、年齢が高く却下された。住民票を高山に置いたまま、県内や県外へと無理な転勤をさせられている。コロナもあり、例え大都市に行っても満足できる生活を送ることはできないだろう。そのため、仕方なく今の会社で働き続けるしかない。実家は空き家となっており、母は他界したが遺品整理も回忌法要もできないまま、転勤させられている。企業誘致し、税の優遇を受けて、稼ぐだけ稼ぎ、傾いてきたら、本体の会社から切り離し、リストラ、出向、無理な転勤、賃金の安い会社への転属は、あまりにも理不尽である。同級生でも中小企業で働いている人は、残業代ももらえないと泣いており、日本はどこもブラック企業だらけのように思う。先日、安倍元総理が不幸な事件で亡くなったが、あのような事件や自殺者はこれから増えていくでだろう。すべては、氷河期世代をないがしろにしたのが原因であり、高山の未来よりも日本の未来の方が真っ暗に思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピックを期に、近年は誘客のために多くの宿泊施設が建設され、県外企業の参入が見受けられる。その結果、雇用は増え、賃金も県外基準となり高い傾向となっている。しかし、労働力がそちらへ流れ、地元の企業への就業が少なくなるのが現状である。観光業に限らず、地元企業を活性化させる施策を考えてほしい。飛騨高山の歴史を伝承させるためにも、地元の中小企業にもっと目を向けるべきである。</li> </ul>

- ・市には零細企業しかなく若者は外に行く傾向がある。場所やアクセスの問題もあるかもしれないが、大企業の誘致を望む。

#### 農業・畜産業・林業

- ・高山は、インバウンドが低迷している中、観光に力を入れすぎであるため、もっと農業にも力を入れてほしい。農業者は海外戦略など全く関係なく、天候と野菜の生育価格が収入に大きく響く。海外戦略など無駄な出費だと思う。飛騨市みたいに手厚い補助があれば良い。市長や行政が変わらなければならないかと思う。
- ・市内のコンビニ各店舗で夏限定の飛騨の夏野菜販売をすると良いと思う。
- ・高山市の農業は、若い方で頑張っている人がいるため、さらに盛んになるような仕組みづくりに期待したい。
- ・超高齢化の時代を迎えて休耕田が増加している。
- ・野生の動物が民家に下りてくる事案が多くなってきたように思う。高齢化により伐採、草刈もできなくなっており、国道沿いの木々も生い茂り、野生動物が木から木へと移り、作物も狙われ、また観光バスに触れるほど近くに来てしまう。土木業者に森林管理を依頼し観光客が安心して来てもらえるようにしてもらいたい。
- ・東京 23 区より広く緑の多い市であるのに、そのほとんどを占める森林の活用がされていない。観光のメインも古い町並や飛騨の里等であり、豊かな自然を生かした集客施設がない。森林もほとんどが人工林で原生林や自然林が少ないのが残念であるが、森林の中にフィールドアスレチックのような施設がもっと身近にあれば、自然に親しむこともでき、若い人も呼び込めると思う。原山の斜面に木を植え、木かげを作り、木を活かした遊具のある、憩いの公園になることを望んでいる。自然の中での体験型レジャーがあれば、リピーターの観光客も増えるし、富山や名古屋まで遠出をしなくても子持ちの家族が楽しめる場ができる。市民が自然豊かな市であることに胸を張れるまちづくりを考えてほしい。
- ・若い世代の農家など持続可能な取り組みを始めている人が多い。他の方に SDGs という言葉はきれいと言われたが、そういう取り組みを知り、地元の産業を支えるためにも、広く利用されるようになってほしいと思う。
- ・外国人や他県の観光客目当ての施策に問題があるのではないかと思う。市職員に農業、畜産業を一度経験してほしい。

#### 商業

- ・昔は華やかだった商店街が、今は商店街もバラバラに活動している様子で、以前のような一体感がないように思われる。中心のまちなかが非常に寂しく感じられる。何か手立てはないものだろうか。
- ・若者が少なすぎる。商業施設やレジャー施設などを誘致してほしい。
- ・まちなかはきれいで景観が整っていると思うが、似たような施設、店舗が多い。観光への視点も大切だと思うが、地元の学生が楽しめる映画館などの娯楽施設があっても良いと思う。
- ・朝市に出店する店舗が少なくなり、地元の人が買い物に行かなくなっている。もっと地元の人を大事にして、地元の人で朝市が賑わうと良いと思う。
- ・高山は娯楽施設がないのでつまらないため、映画館を作してほしい。
- ・大型のショッピングセンターや遊ぶ施設がほしい。
- ・本町がゴーストタウン状態なので、もっと活性化できないものかと思う。
- ・東海北陸道を利用し気軽に行き来できる道の駅のような総合集合店舗を新設し、野菜売り場や、食堂・土産店などを設けてはどうか。思い切った構想に期待する。
- ・若者が他県に仕事を求める理由の一つに行楽施設が無いことがあると思う。ホテルばかり誘致するのではなく市民が楽しめる場を多くしてほしい。
- ・市は公共機関が近いところにあり便利で生活しやすい。また、チェーン店もたくさんあり便利ではあるが、地元の商店は大変だと思う。
- ・市民へのフォローはかなり良いと思うが、コロナ関連で賃金等の経費が増えてきている中小企業、小規模生産者に対するフォローがない。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の民間で運営していた展示施設が次々と閉館している。高山らしさ、独自性を担保するためにそういった施設に援助できないか。土産物屋、飲食店ばかりでは伊勢のおかげ横丁等全国にある類似した場所との差別化ができない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型ショッピングセンターの建設は、もうやめにして昔の本町通りのような小売店がそれぞれの特徴を生かして商いできるようなまちにしていきたい。飛騨春慶のような昔からの伝統工芸がなくなってしまうことがないよう残していく方法を考えてほしい。</li> </ul>

観光・海外戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨牛や朴葉みそ、朴葉すしなど飛騨には珍しい食文化が有ると思うので、ご当地グルメを開拓して、全国に発信し、観光産業のさらなる活性化を目指すと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年から2021年のコロナの緊急事態宣言解除時、それまでとは違って大学生のグループや子ども連れの家族をたくさん見かけた。従来の観光スポットも良いが、大学生や小さな子どもが楽しめる施設があると良いと思う。コロナという全く想像しなかった事態により今まで高山に来なかった世代・タイプの方が折角訪れたのに「また来たい」と思ってもらえる高山であってほしいと思う。古き良き高山だけに頼るのではなく、新たな観光客を呼び込むためにも知恵を絞ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の中にはマナーが悪い方もいるため、休日などで出歩くのにストレスを感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の中のホテルの乱立に嫌気がさす。しかも四角いホテルばかり。観光を大切にしなければならないのはわかるが、コロナ前の行儀の悪い外国人を見ているため、あまり良い気がしない。税収がなければ市民へのサービスがなくなるので、その辺のバランスも大事だとは思いますが、ただ人を呼んでホテルに宿泊させれば良いとは思わない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光都市であり市が力を入れていることはある程度は理解するが、コロナ前の無秩序で迷惑な観光客には来てほしくない。誘致するのであればきちんとコントロールしてほしい。特に中橋から古い町並周辺については、観光業に携わらないものにしたら迷惑でしかない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光行政から脱皮してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光産業から脱却してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山の中心部に行くと大きなホテルが目立つようになった。観光地として大切なのだろうが訪れる観光客はそういった都会のようなホテルを希望している人が多いのか疑問である。地元の高い高山らしい宿をもっと大切にしてほしい。とにかく駅の辺りのホテルの乱立はいいかげん止めた方がよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山は観光には一生懸命だが、本来の高山はどこへ行ったのか。新しく作った物を昔からあるようにして偽物だらけで、大人はそれなりに良いのかもしれないが、中学生位までの子が楽しめる所が一つもなく、「親子でまた行きたいとは思わない」という意見があることを知っているのか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元でお金が回るように市内観光スポットで地元の人が観光できるように、市民が無料で使用できる駐車場を増やしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は観光で成り立っている部分が多いかもしれないが、観光客ばかりを大切に感じる感じがどうにも面白くない。「にぎわい交流館」の整備にいくらかかったのかは知らないが、一体誰のための施設なのか。人で賑わうところを見たことがない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日富士山の方へ旅行に出かけ、どの観光施設もトイレがきれいであった。私が高速バスに乗る前に高山駅のトイレに行ったらびっくりした。トイレトペーパーは、出し放しで散らばっていて、足元はびしょびしょであった。観光都市を言っている高山として恥ずかしく思った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山の魅力づくりの一つとして、何度も観光に来てもらえるポイント作りが必要ではないかと思う。思い出の一つとして誰もが記念植樹できる場所や、観光で印象に残ったことを俳句などにしてもらい、それを閲覧できる保管施設など、思い出を強く残す新しい取り組みも必要だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう観光だけで売っていくのには無理がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い所や都会にはない自然など、廃れた所があるのでそれを逆手にとって、そこをロケ地として売り込めば、芸能人が来たというだけで行ってみたいと思う。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たにホテルが建てられること、古き良き旅館や民宿が失われることが残念。もう新しいホテルはいらない。駅前が変わりすぎて残念。今までの高山がどこかへ行ってしまふことに淋しさを感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルがここ数年多く建設されているが、そこまで必要なのか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光重視になりすぎではないか。今回のコロナの行動制限で市全体が閑散となった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デンバー・麗江など外国姉妹都市は継続ができないため、今後増やさないでほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市は良い所だが、無理に海外からの誘致はしなくていいと思う。接客業をしているため、外国人の利用はありがたいが、言葉が通じず時間がかかり支障をきたしている。魅力があるなら周知をしなくても観光客は訪れると思う。</li> </ul>

<b>経済</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価が高い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアム商品券を販売するために紙代や印刷代など何かとお金がかかっていると思うため、現金で配付した方が活性化に繋がるし、本当に困った人達や貧困格差をなくす一歩になるのではないかと。SDGsを謳っているわりにはお金のいる人が得をしているだけで、やっていることがおかしいのではないかと。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光に力を入れるのは良いとは思いますが、住民がずっと住み続けたいと思えるようなまちづくりをしてほしい。そうすれば地元で経済が回り、人口減少も防いでくれると思う。地元の商店が残るように外部の企業が進出するのを防いでほしい。</li> </ul>

<b>保健・医療</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の健診で人間ドックも受けられるようにしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都会だと救える命も、高山だと救えないということがあったり、また高山だと受けられない医療があるため、他県などへ何時間もかけて通わなければいけないという現実がある。もっと質の高い医療を提供できる医療体制を整える必要があると思われる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の開業医が多く、今後病院がどんどん減ってしまうのではないかと不安である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策でマスクも送ってこない。下呂市や飛騨市は、それなりの対応があった。弱者への支援をもっと手厚くしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の医療は不十分で適切な診療が受けられない。診療科の減少や手術のために富山、岐阜へ行かなくてはならない現状があり不安を抱えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者は有料でもいいので、健診の中に更年期世代の検査を取り入れてほしい。体調が辛くても自分から検査に行かず我慢している人も多いと思う。婦人科を受診するきっかけができればいい。この年代は、仕事、子育て、介護と忙しくて自分のことを後回しにしているし、鬱になる人もいると聞く。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に検査できる方法などコロナ対策をしっかり行ってほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して医療を受けられる環境にない高齢者、障がい者、子どもへの取り組みはこの設問の中に出てくるが、長期にわたる病氣療養を必要とする者が安心して治療に専念できる環境が市にはない。昨年家族が「ステージ4」の癌の告知を受けて、現在も化学療法による治療が続いている。薬による副作用で終日勤務ができなくなり、働けない日は欠勤扱いになり、給与が減額されても社会保険料等は支払う必要があり、加えて毎月高額な医療費の支払いもあり、毎月の支出が収入を上回る生活となった。このままでは医療費を支払うことが不可能になる日が訪れ、治療をあきらめなくてはならなくなると不安になっている。根治の見込みがないステージの重い癌患者に対して、医療費免除をもらえるような制度がほしいと思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リウマチや足に関する専門医などがなく、他県の医療機関へ通うことを考えなければならぬため、医療機関や専門医療をもっと充実してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応はズルズルと行うのではなく、その時にあった対応をしてほしい。市として必要な対応をすれば良い。</li> </ul>

<b>高齢者福祉</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の水泳教室を復活してほしい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に2回程、城山を散策しているが、子ども向けの遊具がある公園はいつも閑古鳥が泣いているため、高齢者向きの運動器具があればと思いながら歩いている。15年前に韓国の公園にいろいろな運動器具があり羨ましく思った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢となり運転できなくなった時、買い物、病院へ行くにはどうすればいいのか、先々の不安を感じている。市は観光第一で福祉は最低である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・車がないと何もできない高山であるため、75歳以上の方のタクシー代を半額以下にしたり、回数券を作ってほしい。タクシー会社も高齢者も助かると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の主人の両親は年金が高く介護老人保健施設しか利用することができない。また、中には介護老人保健施設も利用できずデイサービス、ショートステイを利用しながら在宅介護している人もいる。年金が高い低いにかかわらず誰でも平等に施設入所でき、介護する側、介護される側も安心して利用できる制度づくりに加えて、介護支援職員の給与をもっと上げるなど介護支援サービスに係る人たちの職場改善に取り組んでほしい。介護されている高齢者も含めすべての人が安心してお金のことを気にせず利用できれば良いと感じる。私は50代で義理の父母を介護してみて、常にこの気持ちがあり、よく市の職員に怒っていましたが、世の中がもっとスムーズにいくことを願う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お金が無くて働けるだけ働かない」と言っている高齢者の知り合いが多い。高齢者にも貧富の差があり、その差が大きくなっているような気がする。高収入の人で裕福な人が収入の少ない人を高齢者同士で助けるようなことができないものだろうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所を訪れた高齢者のみ夏限定で飲料水の無料提供サービスの実施を行ってほしい。</li> </ul>

<h3>障がい者福祉</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいを持つ子ども達の特に軽度の障がい者については、社会へ出たときに働くことはできるが、働く場所が限られてしまう。一人で生活することは難しく、親といられる間は良いが、一人になった時でも生活していけるように働く場所や生活する場所に対する支援を考えてほしい。</li> </ul>
--

<h3>地域福祉</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家などから余った野菜などの食材や不用品などを在宅支援先に提供する仕組みを作ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・このまちは、本当に住み良いまちでしょうか。自殺する人があまりにも多く悲しく思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうにかして毎年やり繰りしているため、地域振興券の交付を希望する。</li> </ul>

<h3>児童福祉</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨や雪、または暑すぎて外遊びができない時でも遊べる、中学生ぐらいまでの子を対象とした室内型アスレチックみたいな施設があると良い。自宅や児童館では限界がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少が加速しているが、若い夫婦が頑張っている環境と子どもをたくさん産める環境、そして産んでからの補助など他の地域で人口が増えている自治体の事例を参考にほしい。子どもたちが増えないと何もできないので人口を増やすことについて検討してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものための遊び場などがもっとあると良い。コロナ禍で県外への移動が制限されていた時期に、高山には子どもを連れていける場所が少ないという話を複数の人から聞いた。市外に行かなくても近場で安価に利用できるプール付きの複合型レジャー公園などの施設があると良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの医療費無料の継続を望む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外他市などに行くと1日遊べる大きな自然を生かした公園がある。市には、親子はもちろんのこと0才~90才まで利用でき、動物もいて、お金もかからず1日中遊べる場所がない。子育てしやすい環境は、いずれその子どもが住みたいと思える場所へと繋がるため大切である。観光ばかりではなく、住んでいる人がもっと住みたいと思える場所づくりが必要と考える。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥飛騨温泉郷に子どもが遊ぶ公園はいくつかあるが、滑り台の塗装が剥けているなど遊具の老朽化がひどく、保育園児も遊びに行く公園なので手を切りそうで怖い。また、この公園には日影がないので座って涼むことができない。そのほか草が生い茂っている公園もある。奥飛騨温泉郷は、子どもがすごく減っていて公園で遊ぶ子どもが少ないが、手入れしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上宝地域だけかもしれないが、子育て支援センター内のおもちゃは、電池を入れ替えても動かないものが多い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の様々な問題の要因は、大人にあると思う。しかし、子どもを育てる家庭の教育力があまりにも低いために子どもが十分に育っていかないのが現状であると感じる。特に幼児期の教育が大切ではあるものの、親子で朝から晩までゲームしているようではこの国に未来はない。また、保育士の給与があまりに低いので力のある人材が集まらないのも一因だと思う。給与、待遇などを改善し、力のある保育士を採用して、幼児期の教育を充実させてもらいたい。残念ながら大人の教育を変えることは、ほぼ無理であり、子どもについては変えることができる。人としての基盤を幼児期につくられるため、まずは人材が必要かと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹生川町の児童館を利用しているが、設備がない。特にトイレに関しては、消防署のトイレまで行かなければならず、トイレに行くまで暗いところを通る必要がある。恐がって小さな子ども一人では気軽に行くことができない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが外で遊べる場所が少ないと感じる。もっと活気的な場所がほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の健診について、子どもが一番眠い時間帯に呼ばれるのでぐずりやすい。ぐずっていて普段できることができなかつたりするので、子どもが動きやすい時間帯に開催してほしい。健診の時間帯は先生中心のため、子ども中心の時間帯に変えてほしい。午前中に行き、健診の内容をもって小児科に受診して今後のことを決めるのはどうかと思う。また子育て支援センターは狭く、駐車場も狭い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学を希望している高卒の子に対して進学に必要なお金などを補助してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が人口減少、少子高齢化であるのにもかかわらず、市の少子高齢化の対策はいかなものか。コロナ禍にもかかわらず3人目を生んだ母親への助成金が減少したがどうしたことなのか。岡山県に若い夫婦の1組当たりの子どもの数が3人に近い市があった。医療費は小学生まで無料（18才なんてなくて良い）で、分娩費は全額補助、短時間の保育預かり、子連れOKの職場や仕事の斡旋などできることはたくさんあると思う。子どもを大切にしない自治体に未来はない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育成を考えた時、小学生～高校生まで大きくなった子ども達が伸び伸びと遊び集える場所やグラウンドがあると良いと感じる。</li> </ul>

<p><b>学校教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の子どもたちに誇りある高山を残してほしい。このままでは、重荷だけを背負わせることになりかねない気がする。20年30年後の高山を考えて、教育にもっと予算を増やし、未来への種まきを考えてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生のあいさつ運動は良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生に対する通学の補助金は、なぜ交付までに3か月もかかるのか。子ども2人が高校を通学する場合の定期代は、40万も掛かる。楽に支払っていると思っているのか。住民が市に払うものは期限を決めて払わせるのに、市が住民に支払うものは数か月もかかる。こちらは書類を揃えて提出しているが、交付に3か月もかかる意味がわからない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉に力を入れてほしい。市の教育、主に公立の支援学級のあり方について、先生個々によって対応も違う。もっと支援のことについて勉強してほしい。また、不登校児童についてのサポートが薄い。学校によってはタブレット持ち帰りの声掛けもなく、うまくタブレット活用がされていない学校もある。不登校児童の居場所支援が全くされていないと感じる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・通っている小学校は全校で13人いるが、下の子が入学する時には9人、次の年には全校で5人という状況となる。あまりにも少なく、PTA会員も4軒となり体制的に厳しいものがあると思う。何よりも子ども達のことを考えると、たくさんの友達の中で元気に育てほしいと考える。また、少ない人数の中で、競争力の低下やサッカーやバレーのような団体スポーツや遊びなどもできないのはとても悲しい現状であると思う。現在、小学校とPTAの中でも今後のことについて検討を始めているが、前向きに小学校の統合を市として考えてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活で養われるものがたくさんあるため、部活廃止は本当に良くないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育、教員への待遇改善について、先日テレビでも放映していたが、県では教員の志願者が年々減少しているとのことで、先生の質の向上、子どもへの投資は何よりも大切なことに思う。教員への待遇改善をお願いしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い教育の普及が求められているが、高山の教育の現状を見ると、難題が山積みしているように思う。余りにも先生が不足していること、部活動だけでなく教育本来の仕事以外のことで多忙を極めていることなどあって、一人ひとりの先生が充実感をもって子どもたちの教育に打ち込めない現状があるように思う。これは市だけの問題ではないようだが、この現状を誰が解決するのか。いつまでたっても解決の糸口も見えないようで、とても心配である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨市で大学の新設が計画されているが、ぜひ高山にも大学を設立してほしい。小京都と名乗っているが、建物や町の風景だけでなく、京都は大学の町でもあるため、小京都を名乗るのであれば、ぜひ文学の道も開拓してほしい。</li> </ul>

文化芸術・スポーツ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山公園野球場をもっと自慢のできる球場に改修してほしい。今の球場は県内の他球場に比べて、あまりにもグラウンドや球場の設備等が悪すぎる。子どもたちが新しくなった公園球場で試合をする姿を早く見たい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年ほど前に65歳以上の一般の部で市民マラソンに参加した。高校生と同時にスタートして、結果は、5キロ25分であったが、生まれて初めて真後ろに最後尾カーが着き、他市の健康マラソンでは考えられない設定であると思った。最後尾カーに乗っている人は「やっぱり年寄りには遅いなあ」と言いたげであった。高校生の5キロ走と市民のジョギングは、別のスポーツであるため、担当者はもっと考えてほしい。型にはめた仕事では駄目。また、学生を除いた参加者は、ごくわずかで情けない。市の幹部はなぜ参加しないのか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ活動についての意識が低いのではないかと感じる。スポーツイベントが増えて活性化に繋がることを願う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤保木町の市民プール以外に、大人も有意義に入れるゆったりとしたプールを作してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の子どもは野球をやっていて、南部グラウンドを利用しているが、南部グラウンドのトイレは今も汲み取り式のトイレである。今ではそういうトイレを利用したことがない子どももいて、使い方も分からず、それだけで入部を考えてしまう子もいる。観光客に向けた施設を作る金額の一部でトイレの改修はできると思う。野球ひとつでも一市民はそう思うので、他のスポーツをやっている人や施設を利用している人も同じように思っていると思う。観光客を大切にする前に市民を大切に思してほしい。観光客のためならば税金なんて払いたくない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外戦略や観光一辺倒で、公園球場を長年手つかずのままだったことを危惧していた時、コロナ禍となった。次世代へ良い教育環境を整えることもバランスよく考えてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者がスポーツをする場所が少ない（グラウンドゴルフ、マレットなど）。他県では無料でできる場所が多くあり、市でも作ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光に力を入れてきたが、野球場の老朽化や専用サッカー場が無いため、子どもがスポーツできる環境づくりに力を入れてもらいたい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響もあって、住民同士の対話が少なくなっている。そのため地域文化の向上について呼びかけても反応が鈍い。</li> </ul>

交流
・高齢者や若者が一緒になって交流できて楽しめる大きい交流センター等があると最高に良いと感じる。
・新しい駅前の方に、新しい家がどんどん建っている。よって館のような体操や皆と話すところなど、高齢者が楽しむ場所が駅周辺ばかりにあり、行くまでが大変であるため、考えてほしい。上枝（三枝地区）の方も同じであるため、考えてほしい。
・飛騨・世界生活文化センターを有意義に使える方法を考える必要があると思う。

協働
・町内会運営について、もっと自由に動ける定年後の人を報酬を払って採用するなどの仕組みを作ってほしい。
・まちづくりは皆の問題として、自分の都合でなく、それぞれの年代においても意見して、市民が積極的に参加できるようにしてほしい。何もかもまち協に頼り過ぎでは他人事になってしまい、返って悪い方向に向かってしまう。
・高齢化がすすむ町内活動について考えてほしい。行事への参加や班長や役員等ができる若い人がいないので高齢者でやらざるを得なくなり、町内会脱退へと繋がってしまう。
・現在の各町内では、若い人達が少なくなり高齢の人ばかりで何かと不都合なことが多い。各班をまとめて世帯の数を増やしてもらおうと良いかと思う。
・向こう三軒両隣、遠くの親戚より近くの他人、と昔からあることわざにあるように、自分の家の周りの方とは、何らかの形で声を掛け合ったり、お互い思い合ったりしているが、広く見回して見ると、アパート暮らしの方々や、ひとり親家庭の方々がたくさん住んでいる。そういう世帯の方で問題を抱え孤立されている場合もあると感じている。そういった方々は関わりを拒まれることもあり、大人ならまだ良いのですが、そこに子どもが存在すると、普通の家庭の暮らしは保障されているのだろうか心配になる。皆仲良く楽しく手を繋いで助け合って日々を過ごせたら良いのと思う。アパートも含め、「となり近所仲良くキャンペーン」など、そんなことができると良い。
・市民参加がコロナのために消極的になっているが、行政側はこれに気落ちされることなく、今まで通り、取り組みや行事を含め、発信してほしい。
・市や地区でさまざまな行事などの取り組みが必要なことであるとは思いますが、休みごとにかかり出されることに負担を感じる。もっと自分の好きなように過ごしたいが、地域の活性化を考えると必要なことではあると感じている。
・私の周りで、高山、飛騨地方を活性化しようと実際に行動している方々は、移住してきた方が多いと感じる。私も「自ら行動する」ことは苦手ですが、高山で生まれ育った人がもっと行動を起こしやすい環境が整うと良いと思う。
・安心して暮らせる環境作りを地域で見守ってほしい。
・少子高齢化で、まち協が生活の負担になっている。
・町内の高齢化が進んでいて、町内会の役員や班長などが20年近く、毎年何か担当しなくてはいけなくなっている。若い方が引越して来ることも減多にないので、この先このようなシステムは維持できなくなるのではないかと感じている。市でこれに代わるネットワークやインターネットの活用などで負担が減らないものかと願う。

生涯学習
・子育てや高齢者の生きがいがある野外で活動できる環境があれば良いと思う。
・福祉・高齢者・子どもに対する教育に力を入れてほしい。
・春慶塗、ギター、茶道、料理、海外の料理教室など、今時の行きたいと思える色々な講座をやってほしい。色々大変かと思うが、今後の高山の活性化に期待している。すべてが反映されるわけではないが、無作為だとしてもこうしてアンケートを行うことが、声を聴いてくれていると思うとうれしく感じる。

土地利用
・外国人による土地や不動産の購入が進んでいるようで心配である。何か対策等をしているのかと不安に思う。



住宅公園
・空き家を提供するなど活用してほしい。
・ドーナツ化による市内の空き家対策を行ってほしい。
・今後、空き家が増え、色々と難しい問題があると思うが何か活用する方法がないかと思う。
・市営住宅の公園を町内と一緒に市にも手伝ってもらって美しい公園にしてもらいたい。1人2人ボランティアで草取りしてもなかなか追いつかないし、高齢者が多い住宅ではあるが、ダンボールや新聞紙を寄せる所を住宅内に作ってもらいたい。
・地域の公園の整備をしてほしい。山口町の公園を利用しているが、砂場が整備されていない所が気になる。昨年は使用されていない時はネットを被せていたが、今年はネットが被せてなく砂が流出したり、猫のトイレになっている。ぜひ使いやすく整備してほしい。
・国道を渡ることなく子どもが遊べる公園があると嬉しい。
・公園が少なく、整備されていないと感じる。市内では十分に遊べないと思い、県外に出かけることが多い。
・数十年前は、城山公園によく行ったが、次第に木がうっそうとしてきて遊歩道から市街地を眺めることもできなくなり、しばらく行っていない。里山は、木を管理することが重要であり、また昔のように多くの市民が散歩を楽しめるような公園にしてほしい。人の手で里山を管理することと自然保護とは別の問題と思う。
・公園が少なく、子ども達の遊び場がないので、もっと外で遊べるような公園が身近にあれば良いと思う。市民プールも新しくなりますが、途中の道路が狭くて危ないので一緒に良くしてもらいたい。
・町内の公園をきれいにしてほしい。
・今年は積雪が多く自力で雪かきをしても公園のまわりは柵や金網がありで二度手間三度手間となった。市ではどのように行うのか。一度市内を見て回ってほしい。
・市内に子育てにふさわしい公園等が何もない。自由に子どもを遊ばせることのできる施設がないため必然的に市外に遊びに行くことになっている。一つくらい他の市からうらやましがられるような物を作ってほしい。
・市はもっと森林のある公園を作り、憩いのある公園作りに取り組んでほしい。
・子ども達が遊べるような公園や施設が少なすぎる気がする。今ある公園でも遊具が少なく、もっと色々な物があってもいいと思う。
・城山の如意ヶ丘が整備されて、とても良くなった。大好きな場所であるため、本当にうれしく思う。コースから少し奥にあり、知らない人も多くいるため、アピールしてほしい。
・以前も同じ様に市のアンケートに答えたことがあり、公園についての意見を記入した。その時は、子育て中であったため、新しく造られる公園に対して少しでも遊べるよう、また暑い時期でも遊べるよう「東屋」を建ててほしいと希望したが、その後、新しく作られたスカイパーク等の公園には「東屋」も無く、また緑地公園も水害にあってからほとんど手付かずの状態で、遊びに行こうと思える公園がまだまだ少ないと感じている。「東屋」だけではないが、天気が少し悪くても屋根のある所があれば子どもや高齢者も公園へ行こうと思えるのではと昔から感じている。
・一之宮町には、子どもが遊べる遊具のある公園がない。テニスコートの跡地にできれば良いと思う。
・公園や子どもが楽しめる施設が少な過ぎる。
・市内中心部は、観光地として美しい街となっているが、中心部から離れた地域の公園は、芝はいつもきれいに刈ってはあがるが、子どもの、特に幼児・園児が遊ぶ遊具の付近の通路や小川等は手入れがあまり行われておらず草が長く、歩きにくく危ないため、ケガをしないか心配している。ボランティアでも募ってきれいにしてほしい。

- ・観光客は大切ではあるが、地元市民含め誰もが楽しめて憩えるそんな多目的大公園（パターゴルフ、バッティングセンター、アスレチック、子どもたちが遊べるスペースやごはんを食べられるスペース、バドミントンやテニスができるスペースなど）をぜひ作ってほしい。日本一広い「高山市」と全国に知られているのに、広大な土地が生かされていない。松本市にあるのに、なぜ高山にはないのか不思議で、残念である。市民のために何とか作ってほしい。

#### 生活環境

- ・ゴミ袋は半透明でも可にしてほしい。また、ゴミシールは廃止にすべき。
- ・ごみの分別をもっと細かくしてほしい。不燃ごみが収集後さらに分別され、リサイクルに回されているのかは分からないが、プラスチック製品や食品以外のビンなどは今は不燃ごみとして収集しているが、リサイクルに回すことは考えていないのか。三福寺町の埋め立て地の現状を見るととても心が痛む。できるだけ不燃ごみにならないようなものを購入するよう心がけてはいるが、店に並んでいる以上限界がある。また陶磁器などもリサイクルできるよう分別してほしい。子どもの医療費無料なども大切なことだと思うが、次の世代に豊かな環境を残し、つなげることも大切なことだと思う。
- ・ごみ処理場や火葬場の問題を早く解決してほしい。
- ・火葬場建設に早急に取り組んでほしい。
- ・市内はとても町が美しく、ゴミもなく、昔から町を守ることに市民の意識があり、とても誇らしいことだと思う。物価が高くなっている今、もっと街全体でエコ容器の活用等、まずは生活の中ですぐにできる取り組みをもっと浸透させて当たり前になるまで推し進めると良いと思う。

#### 上下水道

- ・市では、下水道を完備したり、道路の排水溝を順次整備したり、精力的に生活の向上、美化などに取り組んでいることを常々感じている。

#### 公共交通

- ・高山線を複線化してほしい。せめて1時間半で名古屋まで行けるようにしなくては地域は益々疲弊するばかりである。交通が不便だと高山の人と結婚したくてもできないと思う。
- ・交通手段の見直しをお願いする。車が必要だけど、高齢だから使えない人や車を持っていない人に対してバスを増やしたり、市民の価格等を調整して使いやすくしてほしい。
- ・高山駅の看板は見づらいので何とかしてほしい。景観重視かもしれないが本来の目的を失っている気がする。高山駅の「白山口」「乗鞍口」の名称も変えてほしい。市外から来た人だけでなく市民にもわかりにくい。
- ・観光客の増加によって、市内の車の数が増えて渋滞があったりするため、市民が移動しやすいように観光客の公共交通機関の利用を促してほしい。
- ・のらマイカーの停留所をもっと増やしてほしい。足が悪く、100m歩くのもやっとである。一人暮らしの高齢者を助けてほしい。
- ・公共交通が不便である。高齢者が、車を運転できなくなったり運転免許証を返納された際、乗り物を使って移動しなくてはならない時、タクシー料金は高いし、バスの運行はバス停により時間も空いたり、バス停が近くになかったりで自家用車に頼れない人や歩行がままならない人にはとても不便である。もう少し年配の方々が気軽に乗り物で移動できるよう年配者向けの安いタクシー利用チケットやバス路線の見直し等考えてほしい。
- ・私は丹生川町に住んでおり、高校は市内の学校へバスで通っていた。最終バスが早く部活や友達と遊んでくる時間が限られていた。利用者が少ないことは承知してはいるが、後1本だけバスの本数を増やしてほしい。さらに、バス運賃も安くしてほしい。競争相手がいないため、この金額になるのはわかるが高過ぎる。安くすれば色々な人がバスを利用するようになり SDGs の目標⑬にも繋がると思う。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内循環のバス停に屋根を設置してほしい。天候不順の中、バス待ちをしている方を見かけると気の毒になる。また高齢者に対する運転免許証の返還を呼び掛けることも必要であるが、その後のことも考えてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこへ行くにも何をすることも不便である。中部縦貫道など早期建設してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の免許返納について、高山や飛騨地域は車が無いと生活しにくい、正直、高齢者の運転する車で恐ろしい思いを何度かした。返納は進めていかなければと思うが、自分たちが高齢になった時に免許を返納するとは正直考えられないため、私も将来にとっても不安を感じる。市内のバス利用もあるが、自由がきかない。そうするとタクシーの利用だが、タクシーの運転手も年配の方々ばかりで、給料が安いなどで、運転手になりたがらずに、若い世代につながらず、将来は運転手不足になると思う。タクシーを利用しやすくするため、利用料金が下げられるようタクシー会社を援助すれば、タクシー利用者も増え、またそれが運転手不足の解消にもつながると思う。バスに力を入れるより、もっとタクシー会社に力を入れていくことで、免許返納も進み、高齢者事故の減少につながるのではないかと思う。全ての人々が高齢になっても安心して老後を暮らしていけるのではないかと思う。これは10年位前から思っていることであるため、考えてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山駅西口駐車場の雑草等が刈り放しのままであるため、手入れをもう少しきれいにしてほしい。西口駐車場は観光バスを利用する県内外の方々が多くいるため、特に気になる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世の中の変化のスピードについていけない不安がある。市は、のらマイカーなどで車のない方の足をどうにか確保しようと頑張ってはいるが利用しにくいのが現状である。タクシーを時間、距離などから500円、1,000円、1,500円位と定額で利用できるようになると利用しやすいのではないかと思う。</li> </ul>

<p><b>道路</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季の道路の除雪対策に一番力を入れてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・草むしりなどされていない市道があり気になる。管理状況は町内によって違う気がする。また、近年は降雪量が増え、除雪が大変になってきたが、市、町内、個人の協力が必要と思う。道を作った分除雪が必要になるので、建設する際に、それも考慮しているのかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電灯が切れていたり、道路ががたついているなど、街の整備をしっかりとしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山は車が多い割に道路状態があまりよくないと思う。特に狭い道路を整備してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬頭町から北小学校の歩行者道路が整備されていない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・荘川地域の中畑区～新湊区の歩道のコンクリートが欠けてガタガタであるため、直してほしい。自転車通学の子ども達が可哀そうに思う。ガタガタして田んぼに落ちた子もいる。予算を削ってばかりが大事ではないと思う。住民のために公平にしっかりと税金を使ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・松本までの特に安房峠から松本間の交通が非常に悪い。整備されれば今以上に関東圏からの流入が見込めるのに長野県側へのアプローチが足りていない。特に急ぐ必要があると思うため、松本までの高速道路を早く整備してほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞が心配である。交通量が多い道路沿いに住んでいるが、朝夕、祝日等家へ車で入るにも一苦勞で、道路が空くまで別の場所で待機しているのが実情である。私以外にも悩まれている方は多くいると思う。そういった市民への対応を検討してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の段差や隙間の雑草に苦勞している。また落ち葉の季節には、市のごみ袋5～10袋分が必要でかなり大変である。深夜の暴走車、バイクの音量にも苦勞している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールゾーンは、30kmに速度制限されているが、気が付かない車も多く、結構スピードを上げている車を見かける。時々取り締まりを行えば、スピードを守る車が増えると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面が経年により数年前から傷ついている所があるが、いまだに直されていない。それに比べ、除雪で破損した道路はすぐに直すなど、優先順位がおかしいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地への直通道路を整備するなど支所地域からのアクセスをもっと改善してほしい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・三福寺町では毎年秋になると街路樹の落ち葉拾いを早朝から近所の人とやっている。家の軒数が少ない上に範囲が広く、また高齢者が多くなっていて、持病がある中、痛みを堪えながらやっているのが現状である。その上「ゴミシール」や「ゴミ袋」も自前で皆が出しているため、どうにかならないものか。剪定は年に1度だけのため、木がすぐ大きくなり、落ち葉の量も年々多くなっており大変である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三福寺町から曙町に向かって158号線に出るT字路の場所（曙美容院付近）がとても危険に感じる。事故が起こる前に信号機をつけてほしい。左右確認にとっても時間がかかりなかなか渡ることができない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の電柱電線・電話柱をなくしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の一方通行を見直してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・側溝を跨いで駐車している車が多い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通行の妨げになるため、市内の一方通行や対面通行の道路に、一日中または夜間に駐車しないでほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通マナーが全くなっていない。特にR41の交差点の信号において、毎回黄色信号であるにも関わらず、スピードを出して信号を無視する車ばかりである。また、特に高齢の女性は交差点の止まれのラインで止まらなく国道まで出ることが多く、警察も見張ってほしい。いつかは大きな事故が起きては遅いのではないか。真光前のR158の40km制限も誰一人守っていない。ひどい車は70kmで飛ばして恐ろしく感じる。市民の交通マナーを見直してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下切町から久美愛病院までの間、車の通行量が多くなった。またマナーも悪く、子どもや中学生、高校生、高齢者が横断待ちでも止まらない自動車が多く悲しい限りである。もっと大人は全ての人に心を向けて常に人を大切にしてほしい。</li> </ul>

情報
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページが見にくいので、地元の企業や個人の方に作ってもらい、見やすいよう工夫してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する情報通信支援について、高齢者にはタブレット画面の大きさが便利で、私も使用しているが、旧型のタブレットなら格安で手に入ると思う。Wi-Fi設備が必要にはなるが、使える場所がかなり増えているので、このようなことを高齢者に知らせ教えることが必要だと思う。スマホの画面は小さいため、高齢者にとっては難しく、数回やってダメだとあきらめてしまう。同年代の友人はガラケーからスマホに替えた人も多いが、通話位しか利用していない。ラインというのは便利で楽しい。交友関係が広がり、認知症や物忘れ防止にも役立っている。若い友人や地元を離れた孫とはタブレットでのラインを利用している。タブレットの操作は難しいが、写真を撮る時も美しく鮮明にとれて便利に感じるが、ただポイント受理がスマホアプリなのでその恩恵を受けられないことが損と感じているところである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPアドレス、QRコード、オンラインID等のインターネット・スマートフォン等利用の事項が多すぎではないのか。市民のうち、どれだけの人がパソコン等を利用しているのか。高齢者が増える中で周知の方法を今一度考え直してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私が住んでいるところは、TVの地上波やラジオが入らない。広大な地域で少ない人口、やれることは、限られるが優先順位をよく考えてほしい。</li> </ul>

景観
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下一之町の電柱を景観のため地下に入れてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの中に緑が少ない。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの建物がどんどん高層化している。高山の魅力は北アルプスの山脈が市内から見えたこと。高山駅周辺はホテルだらけ、文化会館4Fから山が一望できていたのに、今は一部が見えなくなっている。山都の町としているのにこんな高い所からでも見えなくなってしまったと思うと誠に残念である。昔は、少し歩けばまちなかでも山が見え、我家の2Fからでも見えた。まちなかからの北アルプスの一望はもう望めなくなってしまった。「観光」というのはお金を得る業者だけの施策をいうかと疑問を感じるばかりである。自然景観を守ってほしいと思う。松本市は、高山以上に大きな都市であるが、山脈に至るところで見えるのがとてもうらやましい限りである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなホテルが乱立しているが、全体の街整備の中で高山市の街並みをどう考えているのか知りたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光高山は昔とは様変わりをしてしまった。食べたり飲んだり騒いだりと、ほとんどまち全体がテーマパーク化して、市民が住みにくい状態である。ただ人を呼び、お金を落とすというだけのもので観光はいらぬと思う。古き良き町や人がいて、その風景や人情を求めて人が集まってきた、そのことを忘れてはいけないと思う。今後の対応に期待している。</li> </ul>

<b>地球環境</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他県から鮎釣りに来る人で、川岸でゴミを焼いたり、ゴミを川に流す人たちがいる。国府町の名張橋の下流の川に降りられる道を車で降りられないようにしてほしい。川が汚れてしまう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もポイ捨てなど絶対しないようにしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄が多いような気がする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックごみなどをリサイクルするために、水や洗剤を使い、汚水を流すが、本当にそれが良いことなのかと常に疑問に思っている。一見SDGsのようでも本当にそれがいいのか難しいと感じる。</li> </ul>

<b>防災</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に関する事で、私の家のすぐ前に大きな電柱が立っており、地震で倒れて来たらとても危ないといつも心配している。町中の大きな電柱が倒れてくることを想像してほしい。簡単に解決できることではないことは承知しているが、せめて規模の大きい電柱だけでもなんとかならないものかと思う。</li> </ul>

<b>安全</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビックアリーナの防犯対策が何もない。図書館など市内各施設には防犯グッズが、取り付けられているなどの対策はされているのか。何かあってからでは遅いので対策してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の春先、町内に日本カモシカが現れ、人に害を与えるということはなかったが、市役所に電話をしたところ、天然記念物だから捕まえることはできないと言われた。事故などが起こるまで待たないといけないのか。結局は泣き寝入り状態で、その時の対応は非常に残念であった。</li> </ul>

<b>消防</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日午後7時頃、近くの田の畦から白煙が上がり、パトカーが来てた。翌日聞いた話では、田の持ち主が畦草焼きを行い、消火を見届けぬまま帰宅したとのことだった。夏の季節で明るいとは言え、7時は夜の時間帯である。野焼きの時間帯に規制のようなものはないのかと思う。</li> </ul>

<b>行財政運営</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本一広大な市を活かしたまちづくりができないかと思う。市街地以外は同じような土地柄なので、地域ごとに、もっと特徴的なものがあると良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの地域性に特化したまちづくりや事業を展開することで、特色ある魅力的な地域づくりを強化してほしい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政にはもう期待していない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政が判断し決断しなければならないことは数限りなくあるが、その基準が一体何なのかの原点を常に意識してほしい。本当に市民のためという視点で考えられているのか、行政側の都合や独特の世界での理論が優先されてしまっていないのか、いつも意識をしてほしい。大変な仕事であることは十分理解するが、とても恵まれている職種であることも事実である。市民の公僕であるなどへりくだる必要は一切なく、先述の価値観さえ堅持していただけるなら、むしろ職員一人ひとりが市民のリーダー的立場であって良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高山に移住する方が増えた感じではあるが、外から見た高山、内から見た高山の違いを聞いてみて、改善されたらより良い高山になると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市は観光により人を呼び込むことばかりに力を入れているように感じる。ほかに施策はないのか。大学誘致は飛騨市に先を越されたように思えるし、最近は色々なことで飛騨市の方にスポットが当たっているような気がする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの世代にも安心安全で暮らしやすいまちであることを望む。高山が初だと言えるような新しい試みを考えてもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支所地域は市政運営に関心が持てない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光事業は、市が豊かに発展するのにとても大切な事柄だと思う。今となつては、市民の生活より観光客のことを重視していたように思われる。観光客も確かに大事ではあるが、それよりも市民の生活、市民が楽しめる市であることを望む。観光地周辺の道路や建物ばかり整備するのではなく、市内の細かい場所の除雪や整備、城山などの山の木々の伐採もしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方の疲弊は、平成の大合併が最大の原因であり、各支所の役割を増やし、人員を確保すれば地方に金が落ち地域が活性化すると考える。合理化イコール人件費などの無駄を減らす（公務員削減）から「民間でできることは民間に任ず」は大きな錯誤である。「公務員は多すぎる」という名の「小さな政治論」は、本当に良かったのか。ヨーロッパではもっと公務員の比率は高い。小中学校の併合、学校給食のセンター方式も同様と思う。観光に頼り過ぎないまちづくりを目指してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光産業に偏りの行政には反対である。農林業や工業へ行政の力点を、バランスのとれた高山の発展を考えてほしい。自立した行政を目指すなら、観光に頼るべきではない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政について、コロナ対策など他の市より実行がいつも遅いように感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何に対してもお金を取りすぎる。飛騨市役所の駐車場は祭りの時も含めいつも無料である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余計な一言ではあるが、市役所の職員は朝こちらから挨拶をしても、多くの職員から「おはようございます」と返ってこない。朝から疲れているのか。窓口以外では挨拶できないのかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛騨市のような新しいアイデア、スピード感が無い。忙しいとは思いますが、職員の方が業務をこなすのに精一杯な気が伝わってくる。負担を軽減するためにも市単位ではなく、支所地域で取り組みをするのが良いと思う。やはり、スピード感、発信力が大事だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の職員で診断書を出して休職中の方が何名かいるそうだが、改善はできないかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所の方は、いつ訪れても丁寧に対応してくれるため気持ちが良い。教育が行き届いていると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 國島市長は、私利私欲なく長い間、市のために尽くしてくれた。次の市長は誰がなるのかわからないが、行政、市民に対して良いアドバイスを期待する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市議会議員が多いため、もっと少なくしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長を若く、活力のある人にして、市議会議員は少しの人数で良い。何もしていない年寄りを税金で食べさせないでほしい。今後は、女性と若い人の力を活用してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議員定数の削減について、24名の定数で欠員が2名おり、現在22名で活動して行っているのに22名で良いのではないか。仕事をしていない議員もいる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会議員がしっかりしてほしい。万引きするような議員やもの申すことができない議員は、ただの税金泥棒である。我々が身を粉にして働いているのを知らんふりでは身勝手過ぎる。生活に困ってみえる婦人、やっとの思いで食べている子どもがいることに目を向けてほしい。市長をはじめ議員については、能力の無いものは去れ、恰好付けでは駄目だ。困っている人を助ける男気のある者はいないのか。情けないことだ。しっかりしないと次世代はない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会議員の人数が多すぎる。半分程度まで数を減らすべき。税金の無駄使い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそもこのアンケート用紙が SDGs にあっていないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・このアンケートも役に立てば良いが税金の無駄使いである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問の選択肢に「わからない」も入れてほしかった。例えば、うちは子どもがいないので、児童福祉のことはわからない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のまちづくりについて、今後も、アンケートなどで、市民の声を聴いてもらえると良い。また、アンケートがあれば回答したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの回答には、15分程度の時間が必要ですが、と用紙に書いてあったが、私は実際、50分かかった。個人差はあると思うが、昼休みの時間内で回答できる質問量ではなかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートをすることは、今後が良いことだと思うが、その人の環境、生活態度、気持ちのあり方などで回答の仕方も違うと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・このアンケートが、無作為抽出と書いてありましたが、どの位の割合で配布されているのか分からないが、それが知りたいし、この統計結果がどのようにして公表されるのかもこのアンケートに記載してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホで入力しようとしたが、ID入力が金額のように000,000と「カンマ」が入り入力できなかった。私のスマホの問題かプログラムの問題かはわからないが、3度やりなおし手間がかかったため、結局書面にて回答した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、現在88才で、アンケート用紙が送られてきた時は何でと思った。目が悪いし、足も弱くて、外出もしない。世間のことが分からない者には苦痛であった。無作為ではあるのですが、ある程度年齢等を考慮してほしいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私達80才を過ぎた夫婦で、このまちづくりアンケートはインターネットを利用して回答ができると書いてあったが、パソコンもスマホももっていない。携帯電話は持っているが、押しにくく使用していない。前からある固定電話で十分である。高齢者がスマホを使用できると思わないでほしい。私はスマホ、インターネット、オンラインと言ってもわかりづらい。無理して買って覚えようとは思わない。ただ一日でも健康に過ごせることを願うばかりである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢で、わからないことだらけでついていけません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢のため、意味が良くわからないので途中で記入を止めた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で、以前のように活動していた頃と様子が変わってしまい、回答に苦しむ所があった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・的確な解答ができなくて申し訳なく思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これを企画された方々の苦勞に感謝する。</li> </ul>

<p><b>若者</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度都会へ出ていった若者が自分の育ったまちで過ごしたくなる環境づくりをできないのかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが高山にリターンできるよう雇用に力を入れてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を見越して子育て世代や若者の活躍できる場が増えると良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後若者の移住や仕事が高山でできるようにするためにも賃料を下げたり、建物のリノベーション等をしてほしい。名古屋の市街地の賃料よりも高く、古い建物がけっこうあるため高山で一人暮らしして住もうとは思わない。高山に大学を作っても住む人は少ないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が働く場所と地元定着の促進をしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後、飛騨に戻ってくる若者はやはり少ないと感じている。在宅ワークも主流になってきたが、若者が働きたいと考えるような仕事が増えると良い。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、若者の流出等課題がある中で、若者定住促進事業で市へU・I・Jターン就職した若者への家賃の一部補助や奨学金の返済金額の一部へ補助することは良いことだと思うが、なぜU・I・Jターンの人達だけなのか疑問である。高校を卒業して地元就職した若者に対してもそれ相応の対応があっても良いのではないかとものすごく不公平に感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少の一つに若い人のより良い働く場所が少ないと思う。若者の地元定着のため企業誘致等でより良い就労の場が必要と思う。そして高山地域、また支所地域でも結婚できない男女が多いと思う。行政で何か良い方向になるよう取り組んでほしい。少子化対策、人口減少対策は大切なことである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この先の若者のために地方に出なくても良いように学校や企業を誘致してほしい。高齢者ばかりの町では寂しい。東北の雪国でも活発な市もあるため検討してほしい。</li> </ul>

その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあつて、ワクチン接種対策、プレミアム商品券の発行等、市として良くやっていると感じている。コロナが収まり、また多くの観光客が高山に来てもらえることを願う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年2,000人程度人口が減少していくようであるが、5年で10,000人減ると50年で誰もいなくなってしまう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナのことで、7/5現在で県内にある宿泊療養施設のうち12か所で運用が停止され、稼働している施設も患者の受け入れが少ないということになっている。軽症無症状者が多いということで、現在の感染症指定のあり方や、隔離期間の短縮、クラスター調査のあり方についても議論されるべきではないかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクライナ戦争のため全ての価格が高くなっている。車社会の高山では、ガソリンはとても大切で車なくてはどこへも行けない、不便なところである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は年金暮らしで贅沢はできないが何不自由なく暮らすことはできる。よく車で長野県へ旅行するが、北アルプスを挟んで安曇野と奥飛騨、長野はよく整備されていて良いと感じる。何が違うのか担当者はよく勉強してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イタリアで起こった「スローシティ」なる考え方の講演を企画してほしい。高山に全て当てはまるとは考えられないが、参考になる部分はあるかと思う。今後、発展を求めるのではなく、今ある魅力にどれだけ「気づき」「守り」「育てる」ことができるかが大切と考える。そのためには、「気づき」のきっかけになるようなイベントや講演会を多く手掛けてほしい。30年前に愛知県から移住して一番思うのは、多くに住民が自分達の「宝」に気付いていないことだと最近特に痛切に感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生体験者、人生人格者、つまりどんな道でも勉学に励んだ。人々はすべてに望ましく多くの読書より話し合うことが大切なようである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心部の駐車場は、市民は無料にしてほしい。買い物をすると割引されるようではあるが、買い物しなくても無料にしてほしい。見たところ有料の駐車場がとても増えているように感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山が、昔から好きで機会をとらえて山など自然の中へと向かう。環境を壊さないようにゴミ等は出したら置いていかないよう心がけている。現在色々な取り組みがされ、今後、上向きで良い方向に進んでいくと思う。高齢ではあるが、弱ってしまい周りに迷惑が掛からないよう心掛けている。外国人に会った際も瞬時に感じよくできることはすぐにしてあげたいと思う。</li> </ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシア・ウクライナの戦争、天候不順、物価高の社会不安から感じる食料・燃料不足の中で自給自足の大切さを見直す必要があるので、農業、林業を生かした移住観光の促進が大切だと思う。輸入に頼るのではなく、自分の食べる物は自分で作る。田舎暮らしや自然の中で生活するのも良いと思う人もいるのではないかな。林業については暖房や燃料にも生かせずことができ、観光へも繋げていくことができると思う。里山の良さや大切さをもっと知ってもらい、また、古民家、空き家を再生して移住をしてもらうようリモートワークの人達も対象に支援する。田舎暮らしが良いと思ってもあらゆる生活面での不便さにより、住めない理由があると思うが、そういった意見を聴いたりして田舎暮らしへの不安を解消する。高齢となり、生きづらさも感じていて生きていて良いのかと思う日々、皆が希望を持って生きていける地域作りに期待する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体のことについて関心もあり一助になればとの思いはあるが、高齢となりその術はない。今のところ運転もできるが、この先を考えると世話を掛けるばかりの身であるため、できることには協力する気持ちである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私はこの先そんなに長くないと思っている。いつも思っていることは「次の人のために」ということだけだ。高山はきれいな町だといつも実感する。ごみが落ちていけば気が付いた人が拾う。雪除けもそうだ。みんなで少しずつ片付けることを子どもの頃から親を真似て身につけている。今年の大雪、孫も雪除けで実感したと思う。ウクライナのニュースをテレビで見ると「次の人のために」と思えば何でも大切に使いたい。今ある物、命もである。ラジオで「地球を一つの家として」という話を聞いたが、その通りだと思う。高山のまちも人の心も発展するように願う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在 60 代後半となったが、わたしの子ども達は小さい時からずっと住みやすいまちを思い描いていたが、現在も住みやすいとは決して思っていない。小さな商いをしてきたが、観光客の方々には高山の土産物としてではなく単純に「良いモノ」として購入いただき、長い間使ってもらった。本当に良い物を作り出し、心ある商売ができたことを幸せに思っている。住みやすいまちで暮らす人々が良い生活ができることを願っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山はなぜ自殺率が高いのだろうか。住みやすいまちにするために、心に寄り添ってくれる人や、お節介なおじちゃんやおばちゃんが隣にいてくれたら、心がホットすると思う。明日へ生きる希望をつなぐ。「平和と公正をすべての人に」のSDGsの取り組みをもっと早くにやるべきだったかもしれない。自己肯定感が低く、自分に価値を持たず、発達障がい、ひきこもり、精神疾患など、増えていくのは社会の歪みがまいた種だとしたら、これからどうなるのか。子どもの将来や、若者の希望の実現、働き盛りの世代の健康、高齢者の生きがい、すべての年代の解決策はひとりひとり価値あると認め合っていくことから始めていくことだ。日本国に生まれたこと、日本人である誇り、日本の伝統について、幼い頃から教えていくことが必要かもしれない。自分がしたいことがあっても、声を挙げていきたくても、同調圧力で押し潰されてきたことがあっても、日本を変えていきたいと願う。「生産性がなくても、存在していいんだよ」と、小さな町から声を上げて、輪が広がって「高山が変わったね」とお手本となるまちづくりをしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふらっと出かけて行って、気兼ねなく一日を過ごすことができる、図書館や市民文化会館ロビーのような場所がいくつもあると良いと思う。日常から抜け出したい生活が続いた時、心を休ませられるようなところがいくつもほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空を茜色に染めて日光が沈む。飛行機雲が空を一直線に突っ切っていく。こんな風景がいつまでも続くことを峠の中位にある我が家から祈る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで当たり前のことが当たり前にできない世の中になっている。少しずつでもいいので、もとの生活に戻ることを願う。また、気候変動や災害など決して他人事ではなく、不安はあるが、自助共助で安心して生活できるようにしていきたい。当たり前の生活ができ、1日1日ゆったりと生活できることを望む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は昭和生まれの高齢者で、65歳で退職した後、大正琴の演奏を学んだ後、市内の老人施設などへ年間30回ほど伺っていた。今は全施設ともコロナ関係で訪問不可となってしまう、このままこの活動ができなければ、高齢化により自分自身の能力低下が進んでいくのではないかと悩んでいる。今後、あと何年続けられるか、体力的にも自信がなくなりつつあるが、また訪問ができるようになればと思うところである。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・残り少ない人生であるが、市政の発展を願う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者の年代になり、考えが狭くなり、自分自身の身の回りのことしか考えなくなり、広い視野を見ることができず情けないと思っている。でも市民の一人として、できるだけまちづくりには参加し、生活をして行きたいと思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やっている風だけのコロナ対策はもうたくさん。もっと勉強してから色々やるべき。緊急事態宣言をして何か変わったのか。時短営業をして何か変わったのか。子ども達にいつまでもマスクをさせていて何も思わないのか。SDGsをどうこう言う前にもっとコロナについて勉強すべき。話はそこからだと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの質問に対して○をつける時、難しいことばかりで考えさせられた。高山は、自然がいっぱいで、温かみのある所。いつまでも高山の良さを残してほしいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の人口減少がすごく心配である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の出身は他県であるが、高山はいい町だと思う。しかし人口減少や病院も限られていてこの先どうなるのか不安なところもある。飛騨の人は、我慢強いというか、なかなか意見を言えないのではないかと思うが、皆色々考えている。そういう意見が言い合える将来が明るいまちになってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、数年前に県外から来た者で、他所から来た者としてこの町に思っていることは、男尊女卑、観光客を含め余所者への偏見、観光客がいるからこそ成り立っている町にも関わらず、町の中で価値観が凝り固まっていて、ジェンダー平等の実現、人や国の不平等をなくすという概念があることを知っているかと感じている。田舎ならではの、その最たるものがこの町にはあると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧市内と支所地域の格差をなくしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨市の方が子育ても環境も良い方だと思う所がある。市には、魅力があまり無い。長男も高山に何も期待が持てないといい、名古屋に移住してしまった。私も地元に住んで半世紀と2年経過したが、動物園も植物園も無く遠出するしかなく、面白くない町、退屈な町で、過疎化した町だと思う。職場もパワハラ、モラハラがあり、働きにくいため、改善してほしい。人と人の交流もなく殺風景で、もっと魅力のあるまちづくりをしてもらいたい。若者が帰ってきて楽しい場所があればと思う。物価高などにより給料を上げてもらいたい。日本一広い市なら日本一良い市を目指してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・荘川町の学校、産廃廃止など。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・田や空き地、山を崩して住宅をそんなに立てなくて良いと思うが、SDGsの考えと照らし合わせて空き家利用やUIターンなどの人口増加の取り組みも知りたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営のワンコイン食堂を作してほしい。</li> </ul>